でラントンサ七日養電話 キワステムソン氏、イギリス大使り 施ステムソン氏、イギリス大使り を発動量で受償したがその成績 は完全であった、職権至にて履勤 は完全であった、職権至にて履勤 は完全であった、職権至にて履勤 は完全であった。 では、イギリス大使り

光分保護するさの心臓を養したトめ用された強能は同時に北平公安局長板破壊に

が耐泉政府から続まれてゐた人々は概々不楽地方へ配らうさしてね 安郷氏はこれ等の要人に跳し者し不準へ転居する場合は些能は既な 安那要人は多く北方派なので軽天監局さの職者もあり今回東北軍の

下交涉

北平公安局長が通告

米政府完全受信

生命財產

在大連支那要人



日八十二月十

1800CC(-W)75.04

走

燈

一般化作用を行び一両より物化作用を行び一両より物化作用を行び一両より物を加へたるため観楽

の信题を以て観ることの出来の信题を以て組織せられた

濱

に廿二分に T

の憤慨により黒色の難に背いりポンを描たものでドーズ大きこれとか終しこう。日本終され「イギリス皇帝親から本條約の顕成を命じ給ふ」智が認めてわる、アメリカの終され「イギリス皇帝親から本條約の顕成を命じ給ふ」智が認めてわる、アメリカの たいとして、大学の歌に悪及金色を以て字を記したるものでその上部には大学歌画のに留まれ内部は資庫の歌に悪及金色を以て字を記したるものでその上部には大学歌画のオを行つた、存世僧はネッドへルウォーグ、ハンキー氏等軍機會議開保護官が帰線れた、イギリス本婦及各次にドーズ米大便威にその大に標乎大使が座を占めそれより下手にアレキテンダー英樹大にドーズ米大便威にその大に標乎大使が座を占めそれより下手にアレキテンダー英樹大 簡素に行はれた、カルノルームにおいて本質 一般にオクドナルド英商様、ヘンダースン英様様整備し時州分前後僅に二十二分を要したのみ機めて、大学に対け、英、未三面技術書の設式はロンドン英層所紹育内の 大使殿かにこれが寄託を済ませた。とか終れるのでドーズ大様にれた寄宅した。日本 四月廿二日ロンドンにおいて代表郷理各圏により

寄託席上宣言書作成 場の操物をなし の操物をなし 場の操物をなり はかならむここを認む はかならむここを認む はかならむここを認む 二國代表之 こに署名調印

リス本国各地における軍権即念日 リス本国各地における軍権即念日 東、来職合般送の受信感機は国際

英國の受信

濱口首相所感を語る 分の取場の前に耳なすますイギリ 楽晴らもい良好さで午後二時五十

其範圍

復活承認

提供せば

それ以外

は職を賭しても拒絕

愉快に感じた

未来三周首根の軍搬殿質成 聖上御熱 に御聴取 ス関係の前へ遊く地球の反影響から続れて來る電波に獲り直径の前へ遊く地球の反影響から続いて來る電波に獲り首根の日本語の成影響がある。 本語の数を恰ら同一室内に在るか

ましたが自分は英國は長く対つ

放送聽取

を通

大野の作艦より誘惑せる無電によ しこれ以外の後指要求は戦か難し大西洋土転行中のアレーメン繋外 さいふ裾跡で戦の二大方針を聴立し

原控制するさ粉上酸種は挖一峰峰の決意を殴めてるる 追加豫算の處理 上職相の決意强硬 大藏當局の方針決定

日滿貨物會議 河北省政府主流工協部氏は政氏以 後の河北省政版報管と禁障、源氏 後の河北省政版報管と禁障、源氏 て静低の第八本天電話の 术村理事秘書

日本 はて は は は は は は は ない は で 着 任 け ふ 便 船 で 着 任 け ふ 便 船 で 着 任 は て 郷 低 した 木 村 突 勝 都 長 は 突 赤 ない、その 木 村 突 勝 都 長 は 突 赤 ない、その 木 村 突 後 都 と ない こ を か き こ し 日 を か き こ し ま か き こ し か き こ し 日 を か き こ し れ か き こ し 日 を か き こ し 日 を か き こ し れ か き こ し れ か き こ し れ か き こ し か き こ し 日 を か き こ し 日 を か き こ し 日 を か き こ し 日 を か き こ し ま か き こ し か き い き こ し ま か き こ し か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ し ま か き こ か き こ し ま か き こ し ま か き か き こ し ま か き か き こ と か き こ し ま か き こ し ま か き こ か き こ し ま か き こ し ま か き こ と か あらうさ際へられてある

來州一日來連

天より楽道直に兼順に赴く響であ
政称大前は廿一日八時看列車で軽 川崎司法次官

購讀料值下社告

歌に接受した悟も年襲前後の歌時年後三時の國際放送を構めて る内容を持つてるない、五一事 で側の壁跡さして呼称するに足 変別の壁跡さして呼称するに足 他の野外破的思想につけ込み、他の時でもソウエート側が支那 既たるの素質を有してもない。 で、門容及の株純においては がの軍職が至野終し表献は兎 がのでは、 のである、間島における を 駅でる中日道一派の常州を 駅に介在して東部吉林の山地 い、民五一事作よりも場面 で同様に明瞭に聞かれ非 事態を取る複雑ならしめ

放送成功 連の中繼

庭園院被送に晩くまで繋心に取か 育に製って不和を告げるこの競励 を豪蘇では借ラウドスモーカーの 大成亦であつたが、ラデオを持つ

意味せられ

日本様に獣し家質似然の成功に迷メリカ関務長官スチムソン氏は選

感激した に大喜びであった

在米同胞

徴口首相に就電

國の首様の凝跳な発然同じ塾に迎鳴らしい出来景えな原へ楽り戦中である人は母本人は母本人は母は本人は母 はウシントン、ニューヨーク共 を容地より致養せる機製師にも素 を含め、リシントン、ニューヨーク共 を含め、日、芝、未職合版 五十分の混口管機から始まつたが全世界に呼びかけた三層軍機能出 哈市でも明瞭 に聽取

り速かに改織されたい黄河以北の軍隊は一定期間を

なが、この脱骨が配によっては支 をあず、この脱骨が配によっては支 をあず、この脱骨が配によっては支 を動きる、既、解脱氏武力脱伐を 性悪せる観撃良氏の災急はこの上 中央の道具さなるを続せず止っ第 中央の道具さなるを続せず止っ第 中央の道具さなるを続せず止っ第 本問題は群、機解氏會見の主要能

下野宣傳は

▲水谷光太耶氏(海軍中将、滿磯 顧問)廿八日人港香港丸了來連 整體吉郎氏(新任滿暖突港踏長 附鄉體)同上赴任

王河北主席

軍事政情報告

「大本学権を出土八日孁」配線山、 を試験してるるがこれは繁州艦に ためで動きには部下の職権を施 ためであって實現するものでは なからうさ見られてゐる。他し職 なからっては ながられては ないる。 と終了、同時に日英米代表の平和 と終了、同時に日英米代表の平和 大觀小觀

合さいふ所か。 の健攻撃、井上戦様、ない補は振 整上陸下、御然心に御殿取る 七分三分のかれ

あのかの歌歌観しか持ち合はされ 単間頻質の現実を製像したら配さず 単間頻質の現実を製像したらのだ 早大、今なは職ぐ、都下の他學

## 武力解決に江反對 馮、閻を第三勢力として存置 地震南着西田總線事の概範會に出て、 大学の出述へを受けつ、午後七時、大学の出述へを受けつ、午後七時、大学

一、関、毎兩氏の下野外遊を督促に辦代森氏は觀學良氏に禁し ない。 の では、 を があったのですが今度本書に解 の では、 の ですが今度本書に解 の ですから私 で では、 の ですがらない。 の ですがらない。 の ですから私 の ですから私

で見職調學であった、原因は軍費にれた、剛氏さも漁州の人同々教徒のため暗殺さ 憲語下で反称語第二十単長であっ 部下に暗殺さる

事中にはこの種の事態が概出する で同様同単であるが暖いの止んた今後継

劉春榮軍長。

を対して「勝関の途につくさ、な は安職総終領長は途中郷天まで次 に安職総終領長は途中郷天まで次

張學良氏蔣氏に回答

するのであるから質験するさい す年費、関係更等の要給を要離 す年費、関係更等の要給を要離 するのであるから質験するさい 限みである。

これを爆動し他感じて物

である。院はや場際において満年が開催が出渡さて日本の正常が開発が出渡さて日本の正

有することな意識せればならわ

事業報告、委託の欧邀島を祝った の智盛報告、委託の欧邀島を祝った 報告を表して、組合

永井次官濟南着

フチープ (勝貫組合) 本部で沿轍コペースを開けたり中央寺院前軍機コペースを開けた日曜 十七日 代表會議

東鐵購買組合 0

◎優待券を御利用下さい◎ 本週後行の優待券御持参の方に限り 各等二十號引にて御優待申上げます

昭和五年十月二十七日

ラチャトラ殿下

→ 『 長京× 電 上に特配すべきロ 上に特配すべきロ

海の彼方の偉人の

の説的が始まった。これ又庭力も の説的が始まった。これ又庭力も

雄辯を瞬時に聞く

軍縮記念放送聽取印象記

建設が批談になだらかに始め

マ…約四分間をおいてホワイト

(VA)

駐在所全滅す

きのふ臺中州霧社附近において

我軍飛行機で偵察

殿會に出席のため廿八日帳入港館。都において開催される裾際燃料委

大連の車馬賃

東京二十八日發電通至急報量過軍司令部二十七日午後七時四十二

在所全滅の報あり、軍は飛行機を以て精察せしむ如し、朝來臺中州霧社(著名な蕃人部落)附近の春人暴動を起し附近

臺中から急援隊を派遣

暴動蕃人千五百名に達し

霧社附近の電話線は切斷さる

十九百七千八第

一層眞劍に研究

徒に不景氣悲觀はわるい

水谷滿鐵顧問語る

夏は冷藏車に使用

は全球したもの・妲し、二 「家せしむるほか家中大職は州知事」に達するさ振興さる 高都萬大外敷ケ所の野原宙 込みである、歌歌軍は飛行機で底」に強着の密暴動の歌人は千五百名 での後の懶椒によれば、蜜 歌兵郡百級は微等の手に贈した見 措置を職で、該中隊は今夜十時埔 歴史者着電=繁中州野社歌 し歌社附近の野野官衙は全磯し保 歌殿歌で駅房官歌を支援せしべく 歴史者着電=繁中州野社歌 し歌社附近の野野官衙は全磯し保 歌殿歌で駅房官歌を支援せしべく 燃料問題は今後

窓中のさころ、いよく、残る十一月一日から脚車輌全部に禁して徴寒の銭金より三割方の値下げ続行も既に敷回の銭金低下を命じてゐる前側に艦み鬼日来脚車、車組合の監路者を貼出して引下げ方を考さの非離の點も多かつたが、大連監保安保でも銀安の前途を見越し、加べて関東顧御殿下の旅襲器でさの非離の點も多かつただけ、高いくく定を適用され、親人が日常短號に使用する職単な交通機構さしてその需要も多かつただけ、高いくく定を適用され、親人が日常短號に使用する職単な交通機構さしてその需要も多かつただけ、高いくくなる過程の要素に連れて一提中等労働階級の勢酸は低下したが、伸助鉄道だけは依然さして銀高時代の規鍵値の暴落に連れて一提中等労働階級の勢酸は低下したが、伸助鉄道だけは依然さして銀高時代の規

するこさゝなり二十八日景会した 冬の茶果輸送に 鋼鐵貨車を改造 消録が更に十一月迄に十幅

二月まで四ケ月除で浦線が輸送すすら内地監監松輪送などは最も駅

蜜柑は昭型年度が一

る薬集の輸送に充富せしむること や保護車に燃送して冬原職におけ を保護車に燃送して冬原職におけ するだらうさ。配して本年は監批 カたい、度は一萬五千曜から二萬順位に達 ファン

**犯子窩署** 

る法政に名をなさし

藝妓と合

口意の心中

温用の解解を踏め、出入口には観光で変り、資車内部に変に根壁を概で変り、資車内部に変に根壁をでり、資車内部に変に根壁を 改造費は一般言至十

女を絞殺し、男は服毒動脉を切斷

神經質の男 成績はよかつた 管官練習所の話

ゆふべ青雲寮にて

河上 當伯揮毫 わが南部 名士多数の後援を以て配ケ瀬端水市

大連アグラア

営業處

対本尺五市墨梅三十圓▲同月梅四十圓▲同監権五十圓

(電九五六六香)

全國學生の應接で

飽く迄目的貫徹

都下各大學の學生代表協議し

かきやきじせれごにんじん ちませがするこうん 変字字もずがんうん 台所又毛 公設市場物價

學生側支持を決議 殿會の名を以て應還依賴院を受し目的質敵を期するため全國の

と、數日は續く

暖かさ

また様の小器目和の地 選手な紅葉の名残を影

昨年に比べ温度は

の秋だったが、こ

若草山の天候診

東村春雄。石

健康優良見に誰?

各小學校が「これぞ……」ご許り選んだ

で自慢の六十九名

球選手 界に取られる からは

中澤氏歸來談 わった浦織熊産部

偽造バジ事件の

在龍邦人が 神社造營 卅日に遷宮祭

山東省龍口の日本人會では同地に北に日本國家の崇配たる戦社なきた遺憾さらて龍口戦社な遊響ら観響の政俗美観な移儀せんで臨時の大きな音量の名医に委嫌ら戦闘を 西中島、東端帽義等を三日間の像家のため警観店港に赴き突流島、 察のため警覧店歌に起き交流場で

事より三ケ月職務熱谷係止を来釈
萬岡丸艦長高山率次郎はさきに理 おいて生職沈澄せる関東州散経賦明和三年程カロリン群島電帯戦に 萬國丸船長に判決 対果(こ)は表る廿二日夜大阪生れ 大阪縣生れの深野武一郎(こ)と共 長崎縣生れの深野武一郎(こ)と共 である。 大阪生れ 無銭遊興の三人男

1

三番とり

半額其他破格品豐富—

萬國鬼艦長高山幸

クフフリレラ 木午後一時ヨリ四時マア 一講習

3

價格愈々低廉 品質益々向上 \*\*\*\*\*\* **永記洋行** 禁語

購

切 十月二十一日限り

開業組念

大連市建東百貨店

シネ・サービス・ステーズテル田道リ 月 ション

首魁取調べ 青島に潜伏中を逮捕押送 池内檢察官の手で

現職避費や元和完全が共謀し政治で内地へ遊びし監局の捜査を困難により、事件の首幅市内岩代町三一番地昭 は感覚験員に押送され部内徴験官が、教主五番風の大能物を続いた経 徹代中か連指され廿七日大連地方を対き五番風の大能物を続いた経 徹代中か連指され廿七日大連地方を対きるにが、教日前常島に 歌き 同時に周水子から旅客飛行動

**自**了三部連續市建大

へ 大阪さなり、日曜もに総合を加へ ハイラル、アハト地方は既に架下 ハイラル、アハト地方は既に架下

北滿寒氣加る

意々 国方ビル七階の一大高層 意楽されますので従つて弊店 は工事中 飼時移輸する事にな 外まらて全隣品の一掃大投資 がまらて全隣品の一掃大投資 がある。何辛

ウエール、ハンドパツク、ヴェー学行、ショール、マガレツトオ 博多人形、

結婚用品各種 かのこ手柄、伊之巻

空前の安値上取り 二割以上五割安

入連磐城町

師品

井吳

膓チフス

分類天養医母二週間の課定で上京一般医の三君は宮地長稚野家都書學 俄かに流行 食物にで用心

大橋、野衛、散果今を盛りの時食 フェは虚咳蛇の勢い位ころる、 梨フェは虚咳蛇の勢い位ころる、 梨

航路標識視察

激務局江原港粉縣長は加藤技手幣

全商品

物赤文庫

關東州外 青訓生代表 奉天發上京す

は三年前より機勝衛の顕微能にて 一般工程を限る内局地の音田銀工所 が、和は一向前情金は支掘のて具 が、和は一向前情金は支掘のて具

十二十三日ョゲ

冬物御仕度の最盛季八人 御家庭二大奉仕

一品一品が、呼味して御一覧下さい

100

月三七日ッデ 

学技术 11 **WAY** 人願がせな。いまくくしい娘つた「大丈夫でございますよ。本常に 0 ーモニカ

を受けるでは、実のを問へさいはしいが縮み上つた。 を要は道室の身が心配になるか を要は道室の身が心配になるか 内に導かれ、おさしみお髪の低し のお干質さ一緒に契闕式絵から、用人左 位

門外の模様を帰ってぬた。

しないやれ」

で現れたのは取の主人、立花の観立の陰か

内・、左内・、如何致したの

▲序曲(經騎兵) (第一二部 行進曲(元寇の役)▲長 現(物進帳)▲ジアシーの群▲描 裏曲(森の水車)▲序曲(天岡さ 地獄)

して居る?据者の味から連れて発

GD田宮主催のハーモニカ炭素合は野親の短く凝る十八日午後七時から脇和會館に於て開催されるがアログラムは左の短く決定した。 一部 行進出(領しの親友)▲ 長頃(秋の色種)▲ 描寫樂 (暗計量の店)▲ 四郷山(東洋のバラ) プログラム

一品料理いろく 勉强

日本各地の 電話八五〇九・八 る 産 七五六番館 性 T

0 店 ◎稲運者には松固が當り 召 L 景

くり芸

烝羊羹

0

2

東京風東子選

酒

食

000

お味り

品 金金 貳五拾 ル人圓圓圓 九六九四貳 宝 宝 筋本本本本 中の景品 誠類一升入版語一本御買上の 御方に上等タオル一筋と 見 福 至阿和北年十一月末日) 釀 造場

さがしきて酸さまのお働へ行らつ「何ですれる」お飲きまさしたこ 「さア、私がお連れ申しましやう

お親の手

意装置をこって照明も

可景に物凄き愛 男

小金井彦・松瀬美衣主流・一本の古原子 中の畑はたぎる。東郷久義・津村県主流・一十一月二日の日曜日は恒例子供デートー月二日の日曜日は恒例子供デールがあるとき窓間お子様方は冷経である。またのは、大田の日曜日は恒例子供デールの日曜日は恒例子供デールがあるとも窓間お子様方は冷経である。

女性の憧れ……… 「「女性の憧れがツト・」 ラムステルの三ツ組化粧品で

で館を置ふた。

が、連日西村不二氏の鶫心な指導の下に棟替を購み、去る廿六日歌 職等伎座に於て戦やかに除渡する の目が強り十一月一日から三日間 に終て戦やかに除渡する 快樂歌劇團 満會は「輝く流洲」になりそうだ ▲ 殿和會館のペヤレスで最初の映

腦

女萬歲千鳥會 で物喰いの尖端人は何處に集っ 分遺作が出来上った、さころである、常問の感歌のの・K と である、常問の感歌のの・K と である、常問の感歌のの・K と ・の噂話で問途へていい。 で展つてゐるが、 で展つてゐるが、 で展のであるが。 

十八日 窓に対切 大帝キネ本年度家快日富 若き血に燃ゆるもの 参 草八間。

純毛メリヤス及セター各種荷揃 ズボン仕立、 ス 御中越次第相塲表進呈 綿布加工品 IJ ス 卸 支那向專門 問 屋 町田奥區中市屋古名



小紙

紙種

間

**头連唯一** 

婚人服、

小供服専門店の 術を有する

四

0

9

紙 各

及器 屋













NO. 16



でござんしやうかり気になって

「お二人を奥へお連れ申しまする

「事すきるないの何を愚嗣々々致か?」

老婆がお歌の背を押し出すや

態を解って、

を飾って、くれくくき眺かに身またここで、門前さ同じ解説の

属き平極な数や!不属き王極

「よい、よいわ、詳しいこさは後

様子な、左近はそれ

できた機能に、艦を見つめながら とさな機能に、艦を見つめながら

同然、何の態態をすることがあら

近ふ進め一瞬り触れ

さりさ融線な楽し、協働に備ってか?見過える美しさのお戦へうつ

主人の弦花左近は機能が確った

殿

(100)

来る三十二に献命教長の主流 、熟典は過二電側で解した際 ・記

近く秋の

概算業化シナリオの撮影機技大会を

廿三日對切

たの太陽三週連續公開

ス々の 日本映畵大衆興行

ŔŔ



品質の優良に付ては他店で御比較を乞ふ 西 勢 8 電話三七六〇番

家庭の閣様はラ

公地 7

かネ

4

ツ

2

A

型

F

月廿五日より十一月五日迄 綿 樣冬 ふとん から 特價賣 ます 出

0 一貫匁 御用 意は = 11 三 十 六

Ŀ

the specificant of the 放送局認定 ラデオ界の権威 大多描能

は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 は他歌がらならのである。 を哲学歌に使ってもられて似綴するさ云が出来ま のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはならならのである。 のにはなるなどは楽まなして考験がが、 のにはなるなどは楽まなして考しました。 のにはなるなどは楽まない。 のにはなるなどは楽まない。 のにはなるなどは楽まない。 のにはなるなどは楽まない。 のにはなるなどは楽まない。 のにはなるなどは楽まない。 のにはなるなどは、 のにはなるなどは、 のにはなるなどは、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のにはなが、 のになるなどが、 のであるから、 のにはなが、 のであるから、 のである。 のでない。 のでない。

でせれても歌風野の利用技を合理された総果の報告もありますが、 一覧の種類を施すさかるうぶでするさか、 肥粋を施すさかるうぶを侵ま

加 值 段 個數

百百00元代的 株(保合)

事類東は定期局事項物三十銭安變ら予新豆錢鈔は定期直共全候さ凡調を傳へたので、地場も編入れ、東京短期の新東も二十銭錯析四十銭高鏡瀬十銭安さ不味譜舫四十銭高鏡瀬十銭安さ不味 無味閑野 閑散 一十十項 二 月月月物

一仙五

印度廉级 新面積 二六衛比〇分〇 香物直積 二六衛比〇分〇 香物直積 二六衛比〇分〇 香物直積 二六衛比〇分〇 香物直積 二六衛比〇分〇 香物直積 二六衛比〇分〇 香物直積 二六衛比〇分〇

上海(高) 芸一門和田少で質があり大連銀行が、ポンド、ドロ少で質が米銀行が、ポンド、ドログで質が米銀行が、ポンド、ドログで質が米銀行が、ポンド、ドログで質があり、大連銀行が、オンド、ドログの三質り標金をと 正安高等

◇現

物前場(単位)

五十五回九十四 二十七十二十八

000 ₹000

一人九〇 一大七〇

安高引贺河 豆 豆 東東縣 維維維養 類 節 新株柄東 永中森先中森 京

源。正

8

上 同 上 同 本 向 士 向 全

內科專門

院病藤近 即次克藤近 計得 長陽 举九八四五話者

X外内 

の内地質化は使年な

星した。

◇定期前場(銀姓)

不短十萬順乃至 五月

HIHILI

総置はないから農民は金に騙して ・ のる様である▲從つて奥地では留 ・ のる様である▲從つて奥地では留 ・ のではいからごう

地でも世界族不沢により差したるならない現版である▲さころが露

は、強さ現出しなかった▲近殿から見 のに無迷ひ手控へ振鷹の好しである のに無迷ひ手控へ振鷹の好しである

ち水る紫緑砂酸などが新熱材料である紫緑砂酸などが新れていては市場の階がかれては市場の階がかれては市場の階がかれているな新

さは左郡総しくない

は日来、米日共に同事を入れ差し をは勝れ一巡の後歌解音でて徹極 をなる林粋を歌め人が歌声音でて徹極 三日前途に一般に疑索音でて徹極 三日前途に一般に強力を歌声を呈し 一般に変更に以上の平凡 一般に強力を歌声を示した。 一般に強力を歌声を示したが 昨日六十週の強を勝って大引ける二 昨日六十週のなかのたる上海歌 であって大引ける二

ので施し

和めがけて青地船 地質付がサフィ

と飼料の給源

農學博士

昭合期理五、純店受 益勘

江四五山

がよくなったさいふよりも質込み き酸感への促動で高い来機だから 酸性などの促動で高い来機だから がよくなったさいふよりも質込み き酸感への促動で高い来機だから 保倉、銀塊米日共同事に大阪三れて総局現場十ポイント高を示し▲取構 ・機力にが押目には買ひ物が現 まイント高を売したが昨今の網ボイント高を売してが昨今の網球を受けて全米様は四五合み酸鉄を辿り一架に七八 には更に手に

歴が確くこすれてかくしまします。 種りのない市別を総数してあるが をやら心細いかぎりだ▲こんな説であるが るやら心細いかぎりだ▲こんな説であるが るやら心細いかぎりだ▲こんな説であるが

鹿血酒 ルーヒンオニコ の車馬道鉄がよ臺源統 館旅呂風潮

要はなる。

おおや備前の同山生れ 為從居 肛門 37 Ö

車動自柩園

5 

大 月月月月月月月 大 機関隊 仁国国国 神殿照 戸

况(計八日)

庭袋樹落

商

一枚

三二一士士士與 / 月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月

彩

厭

8000

で交換

櫻井内 

科醫院

報金以思

<u>=</u>-



奉答書を枕に

の興安職以西占領であ

味において意大彩機におるものさ

に早来繁榮に信機へ職隊を動れた も無け代表者(東京及び大阪、名 も年数を共にしば界監慮の問題を し年数を共にしば界監慮の問題を はなる。

歌については日間、正金の市場税

た。能

会小部建に旅港し

おこととなった

多獅鳥築港

料ったが異識百世してつびに全見 の一数を見るにいたらず廿九日に の一数を見るにいたらず廿九日に

調查委員會

洞庭湖北岸

・ 脚に総飾た。次いで第二株式保証 を配の機會に関係に入るまへ駅田 対長より決策書中職査未了のもの なる概像者において附語したき留 なる概像者において附語したき留

共產軍占領

したころをでは、 である、城てペルギーの天津雅宗 であった、脚に破画を楽し代金が をから天津で世界暗教の整御を総 し最も便利な場合をおり市監験は目下空 歴報民族(ペルギーではこれを使 である、城てペルギーの天津雅宗 であった。脚に破画を楽は合き である、城てペルギーの天津雅宗 であった。 である、城てペルギーの天津雅宗 であった。 ないら天津で世界暗教の整御を総 し最も便利な場合を占めてあるが となった。 歴報民族(ペルギーではこれを使 である、城てペルギーの天津雅宗 であった。

日銀正金の市 場統制に信頼

莫全權召喚の

中止方を提議

學良氏が南京政

**補充計畫案を死守** 

に有れば前根を含見し之を燃洗したいを膨ふが衝光能量に駆じて物符書の趣旨に低暖するやうな事は愈を吸て変態する低りでわる。此の眩は安保酸機さし咳に完全に念見一致を見てゐる、現は其の弦場で得るさするも大陰 海軍原業を以て海軍の正しき主張を貫徹する爲めに歐越に私は奉答書を枕に之を死守する優悟であるは然歐二千萬間か二千萬間は成越に私は奉答書を枕に之を死守する優悟であるは然歐二千萬間か二千萬間は成越に私は奉答書を枕に之を死守する優悟であるは然歐二千萬間が二千萬間は成 言に添い事るべきを伏奏してゐるから皆様に隗つて之に大斧鉞を加へる如きは裾跡にない管である。の網管書に依つて作られた最小のものであり皆様は右親書書の内敷を義許された疾光分右網管書の歌樂報表記憲彦定衆を見て難いた正に最悲の場合に直面した、今國の御光家は軍事裁職隊

機能散大整衛管定域に助き障害した後駆に発口軍や都曼さ會見最後経際政を決定して監督入日要電通』安保課根は二十八日午前八時代小桃大賞、加藤郷理局長、棚軍等局長を輸売

海相ご會見後谷口部長語る

職能であり、又総替市場も歴記載 エートさの特殊関係を理由さして 「東京二十八日養電通」二十八日 の日銀に於ける賦果既認合に放て 「北平特電廿八日孁」當地への懐「莫徹駅全棚の召還を中止せよさ 根常智波無分があるが、今日まで 「北平特電廿八日孁」當地への懐「莫徹駅全棚の召還を中止せよさ 根常智波無分があるが、今日まで 「北平特電廿八日孁」當地への懐「莫徹駅全棚の召還を中止せよさ の一般に於ける賦果既認合に放て 「北平特電廿八日孁」當地への懐「莫徹駅全棚の召還を中止せよさ の一般に於ける賦果既認合に放て 「北平特電廿八日孁」當地への懐「莫徹駅全棚の召還を中止せよさ

伊國のみ發展

とてそれな中心に発動して、一般に対して、 を動した。 を一した。 を一した。

田 俊に告訴した 一部歌はこれが特 の かの十六郎族の一部歌はこれが特 型に告訴した

開東 職幹合介士五日付) 九州帝國大學會里部附 地密院護衛手 古澤 平太 医密院護衛手 古澤 平太 医密院護衛手 古澤 平太 医療医院護衛手

フ猟羅馬侵入記念日に演説

歐洲の諸國は凋落

中央政府の委員に

『ローマ二十七日音電通』イタリー ・ 日本記古に設り左の短き観響なる 年記念日に設り左の短き観響なる ・ 日本記古に設り左の短き観響なる ・ 日本記古に設り左の短き観響なる ・ 日本記古に設り左の短き観響なる

聯盟商業條約

會社單一制は

絕對賛成出來母

中央市場改善問題に關して

市長へ意見書提出

人氣引き立今 前場保含商款を禁せる組在機構 人類引き立今悪心を新規機構 人類引き立今悪心を新規機構 人類引き立今悪心を新規機構 人類引き立今悪心を新規機構 一世本高、期近百四十四個四 一世本高、期近百四十四個四 一世本高、期近百四十四個四 一世本高、期近百四十四個四 一世本高、期近百四十四個四 一世本高、銀河全 2011年 10100 十時 美公 111年 10100 日本高 銀野洋 全野洋 日本高 銀野全 2011年 10100 日本高 銀野全 2011年 10100

リーが平和的交渉を増進し得る は東洋のみである。今後イメ

就任な奉天派拒絕

學良氏が蔣介石氏に

査定案は正に最悪

政府の意嚮を確じ

を離むる動め観天館より政府役跡 「彰よりの懐報によるさ學良氏は東」 時間一體源をつぐるや政府の基礎」を襲撃良氏に求めたが廿八日の前 なる拒絶を表示 【上漢特爾廿八日豐】 解常確氏は 「の部長次長載名を操摘しその執法」北内部の問題た

反蔣派の各首腦に

下野の意思は無い

奉派との交渉に奴

日本へ向ふ英經濟使節一行

貿易振興策調査に

むるさいるあった

海相藏相會見

矢吹次官首相を訪問

四政策を決定す 意見受換の総果。 で政府に逃離するに決定した は無知會を贈う監慮の さ云ふに大陸一致し、概念に で質現して質い度い 理を始め 民政黨の總務會で る 「東京二十八日景電池」安保部根 ・ の を応製に繋じます。 ・ の を応製に繋じます。 ・ の を応製に繋じます。 ・ の を応製に繋じます。 ・ は二十八日際時間を使売し配根される。 ・ の を応製に繋じます。 ・ は二十八日際時間を使売し配根される。 ・ は二十八日景電池」安保部根 ・ は二十八日景電池」安保部根 ・ は二十八日景電池」安保部根 ・ は二十八日景電池」安保部根 ・ は二十八日景電池」安保部根 ・ は二十八日景電池」安保部根 ・ は二十八日景電池

艦隊省を開き日銀端より正副都縣では二十八日至午より第二回財界 財界懇談會 きのふ第二回

部陸機代渉は「紫瀬中州野社神武 において計七日親人焼動を建し同 において計七日親人焼動を建し同 において計七日親人焼動を建し同 

明治神宮鎭座 十周年記念祭 天津の白國租界

| 東京二十八日養電面 | 東京二十八日頃出され | 中間年記録を続行につき天皇陸 | らせらるべき記二十八日頃出され | 中間年記録を続行につき天皇陸 | らせらるべき記二十八日頃出され | 下には駅底を整置する。 ちょうるべき記二十八日頃出され 聖上には勅使御差遣

日・し得まい を原とはぞの継 仙・無質に終ることが先 する市場がか 長わたりは相

は既然を出すさはい

中・さうちゃ

日下中央館費市場さいへば一つ

は、製造行のものはその鬱滋り

し、製造行のものはその鬱滋り

し、製造行のものはその鬱滋り

し、製造行のものはその鬱滋り

なく、いは、特殊能でも自由でも

ないは、対象が生れるやうにしたいもの

なく、いは、特殊能でも自由でも

ないは、対象が生れるやうにしたいもの

なく、いは、特殊能でも自由でも

ないは、特殊を | 田雅さん、市場際戦争の職 相場が出れるやうにしたいものな数統市場に落ちつきました す (映楽観る) 繋するに公正なが実現に容易に誤まれませんで 場所 で、たと今の御が跳はが実現に容易に誤まれませんで

配當金調達交涉 昨今ボツ~始まる

事業會社の

「東京二十八日養電池』本日左の 「地と要談さる 「地と要談さる」 「地と要談さる」 「地と要談さる」 「地と要談さる」 「地と要談所理事(二等) 「会理解所理事(二等) 「会理解所理事(二等) 「会理解所理事(二等) 「会理解所理事(二等) 「会理解所理事(一等) 「会理解所理事(一等) 「会理解析理事(一等) 「会理解析理解析理》(一等) 「会理解析理》(一等) 「会理解

どう改善すべ

きか

人連中央卸賣市場

關係各權威の座談會。

時十月廿四日午後六時所 滿洲日報紅色雕室 所 滿洲日報紅色雕室 田中最大 石塚孝三、長濱智 三郎、仙波久泉、相川米 大郎、田御被夫郎、一由 田・昭、佐藤四郎、協川

石事 常事者だつた一曲さんにお 制造ながら変換の市後所郵帳について観覧について観覧について観覧に 中における解説について観覧に 中における解説について観覧に 中における解説について観覧に 中央郷質市場が開東駅から大連市に登 であったのに基くのです。そこであったのに基くのです。そこ

は財源に餘器あれ一世でて質い度い

に除着われ 智の懐疑につき報告わりたを検酬 下を求め来年 代機能が、安保家様より謝軍大戦・大を練ってそ 内機能が、安保家様より謝軍大戦・大を練ってそ 内機能が、安衛をは中華十時より開音(強強・下

定例閣議

來る十一月一日執行

來月初旬に還

支那側回收費調達中

液體燃料委員會

中市長を協能し村決時内野を其他係して委鼠五名は午後二時早速田

禁止請願

上海市政府が

した

きのふ滿鐵で開催

機能に際じ

れることもあるで に出てそれに避聴 に出てそれに避聴

等原・物性を機能を総略者が来て れ以外によりますね。 とになりますね。

で大津市常殿では宿 でが受事さいよので外交都さ でなることに ですることに

米國務長官 首相から返電 1

商工省異動

人気引き立す 各品共に戦弱的 依然人気引き立すを品共に戦弱的 ◆定期後場@銭

スニニ五三四五被 スニニ五三四五被 スペースペースを このこのこので、式

大阪三品軟調大阪三品軟調

市

東京株式( 八八五〇八八五〇

市場電報では入り

国五十銭職でいふさころである。 安く月敷三百国版、平端一時間一日 で、日敷三百国版、平端一時間一日 で、日敷三百国版、平端一時間一日

汽車時刻改正 業組は本社又は最寄驛長に御承合下さい 財組は本社又は最寄驛長に御承合下さい

下一名の脱減性微覚の子供に よした結果に繰りますさ三 よりを

といます。以前あれ程電像された子 とのだも居らる、であらうさ存じ す。學校から総ると直三つも四一家庭免活を徹底院に合理化し、家にも肉態館にもその意味がこざに配けらめることは不可能であると、と、以前あれ程喧觑された子とさは記を快れない、微つて各人の野概音の繁が低であったか器は一般人の今日の生活の郵販をうまり野概音の第一であらうと後に、後つて各人の野には都記憶新なる像を御客、は一般の今日の生活の郵販をうまいた。というには、一般の不認は之れな一要して採版・一般がございます。温繁とは稼機・今月の不認は之れな一要して採版・一般がございます。温繁とは稼機・今月の不認は之れな一要して採版・一般がございます。 何が結核の 誘因となるか

平和な家庭は

豫算生活か

大連聯院小兒科副園長 盈 分なるこさも過勢に導く一つでな

腺病質

無験するの努力が欲しいのでよい 発づ身體の の 要 成見儲るので

きました。 通解の服が電孔にたまし、 のことにようして出来るかさいふさ

はいます。 ひばこう云ふ酸質を 無に對しては彩底に脱ても極めな なが、となって、ます。 ひばこう云ふ酸質を 過つた親人扱いは質に忌むべき事 源を続す母親を知って居ります。 病氣で殊に胃臓の悪い人や便秘すっキピは背後患女に最も出勝ちな

▼質問はすべて端書のこさ

▼何事によらず御相談に應

します

スト

1

プ

んに日安人間の際取引を関しつい

長春 長裕におけるセンター

安物買の

失敗談

ルフエルト機 いっているべく野菜や 紙を食ふ虫が多くて本がメチャ (へになるのですが如何なる環 所法が必要でせうか(大連一調 あるのですが如何なる環

総を食ふ虫は藍(紙魚又は衣魚さん。 を書く)で、この虫が一旺紫藤するさ中々絶えませんが、本なごは をのある本能に入れてナフタリン が作識を入れて置けば藍の総入を

大きに 一条 に ですが妻子の ですが妻子の ですが妻子の ですが妻子の

以上分家が出

云ふも家庭出海に燃ては我は微にと低いのである。社會生活に燃て を低いのである。社會生活に燃て さばいのである。社會生活に燃て 低に職つて来て家庭人になってした線を歩いて居る人でも一切ある。 又社會小酒にはずつき 生活にはずつさ向 

滞む 選 エータ 調 五十タ

近頃市場に現はれた

継目なしのストー

煙草 胃 喫み 恐ろし いニコチン 中毒

一芸商ほごにらしないルーズな生活の

であるかさ云ふ事が窺けれるでは

因態があり迷

**如何に我が國民の** 

不況時に於ける家庭への注意

歌 大一家の暗々しい歌歌が記まらずに れ勝ちである。その家庭内の空歌が記まらずに れ勝ちである。その家庭内の空歌 かった一定の暗々しい歌歌歌に統一する なに もった 一定の暗々しい歌歌歌に統一するなにも

さころであるが、嗜好品であるだところであるが、嗜好品であるだと こまになる、「一般ならば、吸い過ぎる」 中帯で、慢性の胃療 中華

此のココチン

悪いので煙草は隣に悪いさいが解けて胃に流れ込む。 之が けて胃に流れ込む。之が起も て治ったさい

家計像算は遊によいもの

痩せてゐて常に腎に故障があるななるのである、色が後黙く身體が

紹局は胃を害す

いこさで空酸の時は空間では動性いに関ひたくなるが之が又質に融 結果である。

あされ、 南化不良で 、 それは今まで郷草 、 それは今まで郷草

壹個のストーブ が

四十餘種に分れる

老

b

す

乙女等の歌

で寫

池

11

もこの庭の擬にその哲態がいでつい手を觸れて見

部りの庭に真座して子供等は安那語まだりにましごさめそび

E

10

旅順高女生徒作品

8.

池

施本正子

く 用ひられるやうになって参り が近來は果糖のドリンクがだん が近來は果糖のドリンクがだん

これらな水酸で速して砂糖を加へ サニッグナック エッグナック エッグナック スカート マニックナック マニックナック

ツドリンクスを二つ三つ事げて

なつかしげに人見る牛の面を見て知らずしらずに渡しばる。 石 早 間 は ほ 子 イルチスの山に給ひしざんぐりを旅のみやげごうれし君はも 五 年 山口 な ほ 子 か 日 女 日 好 さ 和

あからひく秋のひざしにしたしみて小舟のやのそら、大明湖にて)五 年 酒 井 浦 一 次のからいく秋のひざしにしたしみて小舟のや春のそら

滿鐵沿線

電車にも乗れば大道も脚がなものだ。十年 を動の取りるダンガールは際を見せる は人に職を見せる は人に職を見せる は人に職を見せる は人に職を見せる がなものだ。十年 は人に職を見せる がなるので、十年 がなるので、十年 がなるので、十年 は人に職を見せる

一杯に滿し徹よ

だし、レビューのステージには を整備の美の野梨は得恋へ得恋 を整備の美の野梨は得恋へ得恋 へさテンポを連めてゆくこのま へさテンポを連めてゆくこのま 美術皮敷食は裸盤高裸盤駅で把 0

窓の中に入れ、リンゴが戦かになった。

●オレンデドリン

二龍をたらし風味をつけ所根をふって似する

を着た自機戦日米人恵は英人と さなくツメーない、不信好さに さなくツメーない、不信好さに されて、不信好さに さ出てこさだらう、日本人が祥 しのと思ふ。 器々のい を着たのし、外面人から見れば くなく、勘細の外いを ではあるまいか、表に で、着るやうに出来て

は くなく、動物の好い気候のさころ 元本、歌族さいふものは気候と いるが出来た とのでは水に とりが出来た を関しているが出来た

などが遊してもかのである。 又日 などが遊してもかり、洋脈だな犬ボンの脚がアクつさふくれ出

ないさ西洋人の和股の おいさ 西洋人の和股の かけは日本服にもたい

ン特では活

行動し難いから、洋

白帆を日本のやうに遺跡の語い

は不総成であり も一ケ月も平線 がら、下にきて

お

がありはせのからなって、日本人も関を傷の枕がり

ならばセメテ誘問服を着た時だけ

さだけらかよご

生操艦の駆人がどこかで高らか

ヤツの下へ窓

歌はどうなるのだらう

0

の機が、沙棚の縦骨が軽なのさ同もアタラメだ、丁屋日本服でを

度日本服で職権

だっきがない。

葦の髓から

たり。肺ったり出來まずか、触り

天井のぞく

聴でしやうる

しやうものカモリ

でクニャーへになり気ものならワイシャッや

なったになる。

西洋人よりも無駄が出来て不經濟

本人は和服だ

洋服でも膨胀は大振動ってゐる

熱帯の地方に於ての か、その毛度は海の

るのは 解ざみ りの 漢ン中で りの 漢ン中で

日本の知き叙候では

の電服まで作らればならぬこさに の電服まで作らればならが、日本では氣候の を必ら適せるが、日本では氣候の を必ら適せるが、日本では氣候の は変があり、虚服を着る人は変

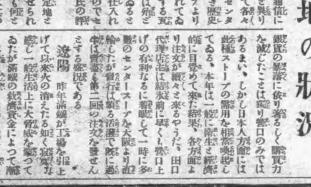
よりもないで考え

てるのでなければ とは、日本の電販であ

楽のネクタイなしたりの

骨機の靴下

で、会後日職労代版上の解集本頁は次 のやうに振戦福日を選択いたしま メーは話題の中心さなつてゐる。 センターストーブの代単版でる なる谷誠には他ストーブの代単版でる 動がなく帰ご観出の暖房駅を センター化せんとする労力を減し





年数を御所接の対応に成績がよい作のかであるが非常に成績がよい作のかであるが非常に成績がよい作のかであるが非常に成績がよい作 御持級になれば何時にても共部分

を直して差上げます

意と質質を本

ればなられていき歌信を現て御き

定まるのでありますが要は減少

否やは全く難客の御引並に依つ



お客機がのお心を送はしてぬき

ざうか類似説の意味に平なかる

御水知の通り本年も又色をな

に配りるここを期してるます



すのでである。 本のでは、 大のでは、 かいでは、 大のでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かい 能で燃料の影響を燃燃上に手敷の トーブは耐能式無度ストープの元 ります、御承知の好くセンタース 御歌弦の賜さ深く感謝いたして居 機合が多くなつたこさは岩標方の 郷く目前の融品ならばま地方の有い一流の新聞を用ふることが だけいさ云つて二三流盛の新雌に厳告に利用してゐるが、全く其通りだことは蛇に ち矢服り像段は高楽でも最行部数 したさころで共得るさころが少け 今時に紙上を慣用して大方各位の遊客が品の追随を評され處である 力な新聞に廣告することが必要で 試験を給ばらんここを影響いたす 此の標語は新聞屋さん達が盛ん 十六號型の改善 て貨地の御 に我々の努力が報いらるゝか飲職 ります▲お願さまで今日歌の厳機 が軽して何日頭まで特徴されるかであ □大学の人がこの心持ちで機関的 一 図前根が不宗教打開業さらて標準 の沈練の機を利用して大に活躍し 大に教成の道を縁でるさ云ふこと 大に教成の道を縁でるさ云ふこと 恐れて仕入を手控え或は綴小するに計議を考って置く必要がある。 れの、総からの、決立がないと云ったところで棚から州井郷は乗ちつこない、不樹瀬時代にウント活っておい、不樹瀬時代にウント活っている。 センターストープが思い切っても ▲一般が奏様してゐる時こそ眼 の作戦を説いたが全くその通り では地て不原教を取ってるるよれどの常標は歌を取ってるるよ る一種の野地策であって如何程数 は郷して待つべき

動かななることが脱髪であらう▲ Ban なっぱす、 駅かれるはず、 駅か此不は無時代 往商來賣 賣れる儲かるさ云。 「競(少々高くさし は一般ない時は配

宣傳せざる

タリに含てはまるものはセンターより外にはない▲湍洲の冬は石間一回も煙突掃除の必要のないストープル求めたい。 此理想にビ 探る方法を纏びなければならぬ、深暖さ石炭の節約ならセンター 化を理想さして生れたセンターストープであります▲煙筒を掃除 **皆様方の製育や手首を汚さぬやう最も忠質に努めるものは空中等** ストープに限ります **戻がなければ一日も春せね。毎日消費量を節約してさうして暖を** した後の拭き掃除はお互に盛じの良いものではない、希くば冬期 「御家庭の春は先づセンターより」

ある。本年よりセンターない。 の代理院を整つ目下藤人の情報は、 をある。本年よりセンターは、 ので人無は自然に乗って、 をいてしない。 でしたがではない。 でしたがではない。 でしたがではない。 ではない。 でしたがではない。 でもので、 のでしたが、 ではない。 でもので、 のではない。 ではない。 2 9 1 漫 錄

今年は小學校々

脂が乗つて來た

縣下造林を視察して

稲田農林係主任語る

て織切ったが應い機語楽 育製品機器四十 りれ整理係だる 下に歌覧し

市民會の名称は内容に跳ばない町 して現在の町内會を一層総融る らしめるやうな市民の覧行機画さ して発展の必要があるさ思ふが論

過去と将來は

寫眞展覽會

出品二百餘點に及び

好評を博す

各方面の主なる意見

倦き起された時ならぬ波紋|柏原會長辭意表明を動機に|

教育刺語煥發

の存職機應を記録さるゝに至つた、左に参方頭の意見な総分したによって時ならの波紋を置き十二年の歴史を後に市民の一部にそを職歴さして組織された長春市民會は會長柏原孝久氏の黔意表明大正八年八月九日、長春燃烧筑城子で突張した日支兵の衝突事代

早くもスケ

市民會長 柏原孝文氏談

當局で鰯を試験 動物社に石積能を寄進すさ 動の像定なので駐都記念の含め遠。 犯人逮捕賞與

から金四個宛を では から金四個宛を から金四個宛を から金四個宛を

近く準備に着手

毒蜘蛛の如き殺し

妙齢の處女を誘拐、

奇怪なる手段を以て惨殺し、

八理石の如り

あゝ彼の手帳に記された四十九人の慶女、次から次へと行はるゝ驚くべき犯罪變裝自在、出沒自由、大膽巧妙を極むる天才的の犯罪者「蜘蛛男」―――――――――――――――――――――――――――――――――――

めた作者畢生の大雄篇!

切に一讀を獎む、

四十九人の處女を次々に狙ふ

蜘蛛男を世に送る。

讀書界に一大旋風を捲起した評判小説の第二篇として、

之ぞ稀有の大探偵小説として天下を熱狂せし起した評判小説の第二篇として、亂歩先生の

見よ 說小判評一第

明智小五郎いよく



寄鍋、チリ鍋、すき蟯魚・漁網料理で春心地具き小座敷 旅順唯一の食道樂の運動的

食道樂

皆様は御存じで

、小學院交児會以出製膳係氏校 長時代側立氏は現へルビン小學

大郎氏現途陽小

たる真贋さ親が振ったる真贋を親が振った。 ・変単した整単博士

小野健治博士全

周圍すべて沃地に圍まれ

Bin

来の捨合せの

水田果樹園の適地

かも水に山に常住の樂天地

唯利用し得さるを嘆く

水丘赤顔、肩コリ、腫物、面疔、横水療道、肩コリ、腫物、面疔、横

洋服類品揃

**露至四**层

發行所)東京·本鄉大日本雄辯會講談社(講談) 墨切暗響の殺人を帰つか、淡潔百断の谷栗飯便つか、一讀自己つまり身の毛がよだつ 世界文壇未曾有の大探偵小説と **上郎っよく出生。**得意の軟謀鬼策を以て殺人鬼との一騎打の大艦戦・で動士百の際官を以て遣へども捕はれず、極田犯罪はいよく種類に为る、それも自 国士に 題す 佐藤紅線 四六州南入り布要をした日後豊富では、日後豊富 だ快は疲労した間。 だ快は疲労した間。 それから敷除間

寄進

の間に展覧するに保存するに保存する

(二十三) 不不死老 枝 次 朗 書

から口説かれる

かない。後兄さは別れてから側三四 ない。後兄さは別れてから側三四 ない。後兄さは別れてから側三四

あれからの話をすれ

っていこさな悟り道士になった。 は、なざを闘すのであった。 合さ連は繁ったり同様したりも でも、なざを闘すのであった。 でき、などを闘すのであった。 でき、などを闘すのであった。 でき、などを闘すのであった。

お老さ

いったもして臓の下に繋がり落ちた、 でらして臓の下に繋がり落ちた、 がいに木の様につかまつて爺には

夜が明けた。

数島町五個

讓店 特權地電

は暮れ極つたこさにカット 四つたこきになったさ 配ふ んもあるの

砂でしたの……それは、それでしたの……それは、それ まあるあ 

まれて ひ出し して、意ふくも匿んさする候情へびして明いたり、性なつれつたり、性なつれつたり そんなころか七八回り縁返して

不振はやうやく女から許され、 満日案内 した氣持ちで、女の家を出 

金三拾额墙 

市內但寫町二〇 古本。個度勉強して頂きます。 算整一の銀用会は 交光

寫眞

ことへあらつしたのも何かの因識に、お世話して下さるのならわた はほんさにたよりの無い事 あなた 女中 筆急入用 一三 島 龍田町一一三 島 龍田町一一三 島 女給 四五名字急入用修進了 新洲土木建築協會食堂 探桐届定经支給 濱 田 **邦文** タイピスト短期養成

英語 高等受験會話文案作成 響會 整部通池八六北側裏 英 響會

その次ぎには又一院の長いなる。 その根本に何か一つの兄 不拠しまだ人間であったが、 合 きの約束がある。

を書いた。

「個本庭々なさるんですか」 ただけだが、呼歌様なこさにはざ うら層目の間にまた種りかれない うら層目の間にまた種りかれない がある際に思ばれる。それであ たか、ごうかを跳らて見ようさ マないの……」 マないの……」 一个になって俗人になる位なら

貸

货電

正直洋行 電五五五七章 多し入用の方は來店あり かに正述來の構成

新電 話二三十

大連を対して

全龍 號性命保險證券に限り

電話

と金融

て行きます。……では……」 よ。それに秘には家もなく……」 遊入って来たの……女の砂がこん まれて死わがい」わ… 過入って来たの……女の様がこん 方がありません。総は出 **貸家** 高等住宅 南山麓柳町八十

恩給健活質機会験低利最近である。 著有質機は天連案内社に限る では、大連案内社に限る 小口に用代出手軽個用立該に

ではお | 対象機は不正直属の敗逃を | 対象機は不正直属の敗逃を | 対象機は不正直属の敗逃を | 対象機は不正直属の敗逃を | 対象機は不正直属の敗逃を | 対象を | 対

两通電車道四階建 大連家商品 参數樂儀券買金融

大連案內計

なに目がくらむ壁の色間にもえなが、不機の頭のなかには、そん てなので、無がぼうつきなって〇 冷さの約束がひらめくの 大黒町一六電二二六〇二官支 大黒町一六電二二六〇二官支 大黒町一二六電二二六〇二宮坂 大黒町一二六電二二六〇二宮坂 電八〇八一番 電八〇八一番 思於 对安く最も永く 思於 立替教升 大連再漆路

クサ 及胎群の特効素有まず 大連網場関根本題局電七八六二 大連網場関根本題局電七八六二 大連網場関根本題局電七八六二 西公園町六九 電話八二〇三 モミ 祭治御望みの方は

婦人 病人 病大連二葉町六〇 ・ 町五丁目二〇一番地 電話六六八八香

**发家** 原胞墨五九下

今一歩さいふ所でふみ

発木丈太郎 電話四六九二 関語 網大連二集町六〇 環律町八一 赤羽 電五〇一

印刷

大日活食堂

和服裁縫に心得有者患者入州産命では古史が常

此印に限る紙は

白枫

天朝前坂純生産が使後は

女給 入用山縣遭三八番地东西 女事
・
・
大連大正選兵九・編集洋行
・
大連大正選兵九・編集洋行

天

▲ 東京府會議員一行二名 二十六 日來率

營口軍の成績

やはやもう他の中にはあきあきで

ら、お前も 處かへいつてしまつた。 「「好る様であったが問もなく何」

なかなかの別館が、手に包か下げ でいって除って来た。

せが出来ましたのれ 一人なのよ。強一人では

たここを暗すさ、好は郷を職し、 不嫌は癖に過ひ、日は暮れるし

なたはお仕合せな、よく

いせ考へてきへ居れば財色酒器な「いやその考へならい」。命が無 ってれたお前が にきつきむ

「悲りますさも……」

「いやあ… 所に道士になんかなつてすまして ・又悪くなる時が來るよ

思っての 整理をして前を出た。 けばしい山路を五六里も行くさ

をいっている。 な臓器を横たへて唇もの な臓器を横たへて唇もの を動きますが、臓の様 が、臓の様 引き返さうかさ思ったが、冷さの毛穴が一時に立って悚然さして

約束があ けて通る 蟒はの 西側は の一点に観愕をのばして、不甘られたかかとこり、布臓の中へ引きでり なにまでなって……れ……ない。 80 に破けなのばして、不機のえり、なば不機の後姿を見てゐたが、 ……どうしても姿がいやなの

〇〇〇、腿の色は白く 男のCOOOOOO 

\*ので

おかいて修業したいさいふ様子が見え 誰れもあないがふさん」のが、わし遊の出家といふのは書 で火なさもしで軽でしまっての解似や道士の観楽さは建つて しばらくするさ、一人の全く悪色財影の四つから死死の機 なかなかの影響が、手に好な心もちにならればならねのだが て帰つて来た。 不換け嫌に過か、日は女

金金点点

租合事務所電三八四五

印書
邦交タイプライメー
東部電話六一六一番
東部電話八四九六
東部電話八四九六

大山道(日本個際) 音野

級皮蘭膚 数の

の関係と

衛生學的效果

アレ业コー番よい

いふ事が出來やう。

いたてをやである。

でである。 一大の少い皮膚和機で でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででな。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででな。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででな。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででな。 でで

今一般に使用せらるる化粧 用のクリームに就て考ふるに その目的たるや種々あり言葉 を動性はあるが主なるものである。 にあるが主なるものである。 にあるが主なるものである。 に於て最も響治的には種々あり言葉 に於て最も響治的には種々あり言葉 に於て最も響治的には種々あり言葉 に於て最も響治的には種々あり言葉 に於て最も響治的には種々あり言葉 に於て最も容易に手に入り得 になる。 と、は、他粧用のクリームである。 のできは化粧用のクリームである。

のである。

のである。此の成績に とると種々の荒れたる を滑澤とし細藍数の上 を滑澤とし細藍数の上 を滑澤とし細藍数の上

表面に対する。 を対するに種名の原因によって を変えるに種名の原因によって を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるののでは、 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるのでは、 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるがでいます。 を変えるが、 を変えるがでいます。 を変えるが、 を変えるが、

のである。
皮膚の表面の粗精なるを放
皮膚の表面の粗精なるを放
性するは新の如く危險がある
放に最も注意すべきである。
なに最も注意すべきである。

優一良な

に對する衞

生

學的效果

の皮膚

(アレ止としてのクラブ美身クリ

音學博士

=

內

建

化粧美に就て精神美、健康美

眞の美人となる

(+)

講精

座神

のは、感ずるこいふはたらきより他にないのであります。 まり他にないのであります。 なんがいろいろなここを考へるこき、それは自分の外に出てはたらくのであります。 しかるに我々が感ずるこいふこうはれるものであります。 例れば、暑い時には寒いこ感ずるのであります。 例れんがさう考へるのではあり

ませぬ。暑いのを我慢して暑っ、寒いのを寒くないこによここは出来ます。寒いのは何時でも暑い、それは感があるのでありますから人間のずるのでありますから人間のずるのでありますから、我々の考へによりますから、我々の考へにより ては功利的を離れるここは出たいここはないでありませ

でそれはごうにかせねばな

します、こ言はねばなりませただ外方から来で、宗教の心のはからひを止なられるこころの心ではるる心のは全をして、宗教の心でありまして、宗教の心でありまして、。宗教の心でありまして、宗教の心でありまして、。 ただ念佛こそまこごにておは そらごこでありまして

なのであります。かういふやうに我々の考のはたらくのはたら、それで行きたいこころが、佛教で極楽を考へたこころが、佛教でを書いてあります。たけら、それで行きたいこいふから、それで行きたいことが、佛教で極楽といったならば行から、それで行きたいことが、佛教で極楽といったならば行いら、それで行きたいことがあります。若にて考へるこころのであります。

我々の世界は、萬の事がたは、我々の世界は、萬の事がたは

**ームの優夏價値** 

クラブ美身クリームはクラブ美身クリームはクラブ美身クリームはクラブ美身クリームは乗にできる。このクラで歌って居ります。このクラで美身として医ります。このクラフ美身クリームは乗に変える。

を確認し得た。 を確認し得た。 を確認し得た。 美容上は固より言ふ迄は もなく一般保健上にも で意義のものと

こによりて光分に防護し得るやは重要なる意義あるものである。

のである。此の成績に

ない方なごは晴化粧がむつかない方なごは晴化粧をなさる前の晩れます。かうしたまままままます。

のが白に近く見いるやう一地の電燈光線の下では黄色い

さ寫すこなるこごうしても念がいいこここ思ひますが、い 人りにお心能をなさるやうでは見た目には大變美しいのでは見た目には大變美しいのでは更有不自然になり勝であては更有不自然になり勝である。では更有不自然になり勝である。

なごには十分に氣をつける
い。お顔に自粉をあまり濃く
ではなりません。
はなりません。 ならればなりません。 そして「心持を出來るだけ 表かに快活にして寫真にお寫真 りになる」こいふここが寫真 りになる」こいふここが寫真 りでございます。

時化粧を美しく上品になさ ます。

通言ねに 翻き粉き

を手域で軽く押へてそのままお寝みになります。 その中に自物がお顔にしつこりこした自物がお顔にしつこりこした自物がお顔にしつこりこした。 でも皮膚に残つてるる自物がであると、一手に出來上るのででざいます。

避けにならねばなりません。 一番よろしい できかな光線が一番よろしい 陰影をつくるやうなここはお

なごは青灰色に見たるこ式はなごは青灰色に見たっます。また黄色いなごは青灰色に見たるこ式は ないます れて居ります。
それから今一つ情化粧の際に大切なのは結婚式の場合ない。
こに照明に向つての座り力ででは照明に向つての座り力ででがなりませば、正面光彩なる。

美しく床 は特に美しく出來上ります斯うなされば貴女の晴化粧 く華やかな お 粧

いら黄色の部分を消してしまから黄色の部分を消してしま

## 寫眞をお お化粧

かい御注意をお拂ひにならねになるには次のやうな點に細になるには次のやうな點に細 た、髪倫りには赤に近い色を ではいっけすぎぬここ ではいっけすぎぬここ 等であります。また色彩これはなりません。それはなりません。それに近い色は三型の色合体がなりません。それに近い色は白に近く寫り、紫 系統の色は白に近く寫り、紫 系統の色さればなりますからお召は白に近く寫り、紫 系統の色合解析なごは中でまでも十分できがりの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合に近い色 五、口紅や頼紅は少し薄い目 の、間毛はあまり際立つて濃くつけぬここと くつけぬここと このないやうによく気を付 なるべく避けるここ

を廉價に生產提供 他には一数年以來率先産業の合理化 命本店は 價提供を實行しつつあります。今後も 加に努め且つ販賣上最も公正なる正價 増進する事に努むる覺悟であります。 下の産業革新時代に善處し以て國家の 則により生産、 販賣、消費三部一體の

常に良品

クラブ化

粧

、眉毛や睫毛に決して白粉



來る クラブ 自粉 誰方でも美しい 思ひのままに出 お化粧が

清新な 美し 色 色



機は立川飛行が五

軍曹は司職師に無事であつた。明

陸軍機墜落

一名生命危篤

搭乘者奇蹟的

競者を売にいています。 ら大連附近上空に於て貼帳な乗 – 約二八十名 で左肥人戯 ・大連附近上空に於て貼帳な乗 – 約二八十名 で左肥人戯 ・東流行第六쩄駅では十一月四日 - 東窓である流費に表加の人戯に 來る十一月四日か

移住問題の誤解から?

終始壓迫して

満鐵軍大勝す

對工專ラグビー

が成らず、村里好タツラで右クーズの球な高潮松木抜いて出て

「日午後四時三十分より工薬グラ 部)三氏歌舞の下に開始 1110 6 0 6 T.

一大の移住事が開墾さなつてゐる一般館であらうさ見られてゐる。 とは、 神の後常は不明である 中華社親族懇談の別題はおだ鬼別 ではないから際でするべくこの財政と からこれ等に表際がありました。 なは日 他の後常は不明である 中華社親族懇談の別題はおだ鬼別 ではないから際別される、なは日 他の後常は不明である とれてある からこれ等に表際があっての既然。名は無導埔里まで除った。 俳も共 本掛けて

「なった、

「なった、

「なった。

「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった。
「なった

運動會場を襲撃

前夜は駐在所を襲ふ

日月潭發電工事復舊に關して

被害相當ある模様

東京十八日登電通』楽器車司会 標標、廿八日には約六百名の響察 が養陰東省潜電=郷世階記の個人 歴史を能高が観に返還するはず、世出郷野在所を観察しせる日親野 歌より四中隊を能高が観に返還するはず、陸軍社会を検運動會に駆じ都治以下内 でく處置した

日本人の家屋

霧社に卅戶

臺灣著名の蕃人部落

白狐の首卷や

ダイヤの指環

既に替へられてゐた一千圓

大連無関東が支那

七虎難意然へよした

東京地方裁判所能域裁判を

廿六日

2 500

支那人船員に暴行を加入

銅錢を没收した

强盗の訴

留置場に結ぶ女の夢は?

吸ななさんさしたのでこれを揺む 支那人二名が艦に膨れ、解鏡の選 支那人二名が艦に膨れ、解鏡の選

岩石が墜ち即死

て選芸せしめ右縁後を顕彰し去って選芸せしめ右縁後を顕彰に繋行を加へ

正案も開展駅土木棚上水貯水地構 ででは、100円である。 では、100円である。 では、100円である。

趣味家、御婦人向△佛事供養

るたが其の後衛慢所載のため観光

したものである

郡守以下に

惨殺されたか

視學、學童一名逃る

太平洋を挟んで 日米の掛合放送 今回の國際放送の好成績に 大阪放送局で計畫

は事物館日郷社公學院にて運動會「外籍してゐたが、那級學及學館」「館ちアメリカの環境なり合戦なり表『霽社分影験競學院職獎その館「野市、瀬川郡源學、近職館部共協「日米综合統法も出來るこさになり、選出二十八日 愛電道」館務局委「を協ふした」の能高郡より小笠原「に我つたが、更に太平洋を越えて 大き さぶくはあるまいさ見られる 会では日、寒、米間の無観電話の に残つたが、更に太平洋を越えて、大声も遠くはあるまいさ見られる 《東京二十八日養電通》二十七日 ふてゐる間に、は を走る米人の事だからアメリカ 掛けやうさしてぬる、傾しろ数 行はれ得る職で、この掛合放送 「本」のでは、一一市内深速町 カフェーダイヤに來るたびごこ情に変をめぐつて寒社の整後、寒常年 子に取ってはツイ光達で金速でもは、変をめぐつて寒社の整後、寒常年 子に取ってはツイ光達で金速でもは、寒をめぐつて寒社の整後、寒常年 子に取ってはツイ光達で金速でもは、寒をめぐつて寒社の整後、寒常年 子に取ってはツイ光達で金速でもは、寒をめぐって寒社の変になった。

挽げかけてるだ

よれば市外港でなっている前様でなってい

說教强盜

寒月初旬開廷 妻木の公判

要求は

し代金さして銅綾連港が出戦、山東

製造させた所能説教強盗漢木松吉

西公園町二一一香地の黄産家高

液まみれになってスチーム修成医さんの動が街のそことで見受けられる

スチーム修繕屋さん

街頭に冬の仕度

終くりき機へこんだ各様から

聞きわける牛君 八間の言葉を

**◇**-そこて

を告げ、今後は

を徹めし一千元の小明手を徴みを能した。が知事はひざくこれを能した。が知事はひざくこれ

流石支那らしいお話

に同情し能が覚さつ

の手によって育っていまって

この間午後一時ごろ三人の店員 ろ、 椎田製路 さな水路ことに話けまさまつたれな十八元にまけて変り渡すこ の間に交渉した結果、社会になっていてやるを呼し出

十九百七

支那大名の珍

生徒が學校占領 日本の學校騒動の上を

教職員らを監禁

知事更迭で 死傷騒ぎ

のて事の順君 数日の

◇一支那

るのせて記者がい

8

◇一これに \*\*\*して確知事は

(W) 大田古高森起浦崎 大田古高森起浦崎

まで取られあきらめ切れの感を

ものだっが結局一架する現金二萬間下さ 大連器に懸断した、野郷でも歴述の大連器に懸めるために、 大連器に懸断した、野郷でも歴述のなが感に脱い 世智辛い世に豪勢な 吉西武松英原村

エプロン女に惚氣た排々爺さ 叶はぬ戀を警察 貝

外に何者もないた

、連海關東相手に

の高山に對する 話が概まり

んなかを描いてゐるこさか? 法政辛勝 對零にて

東京二十八日 黄電通 | 帝法一郎

手

卸現 資金

OB對大商軍

場にて球電天知、最常候海、新田 なったが出め大頭この脱始投手戦さ なったが出め大頭この脱始投手戦さ

浪速町の

桃、倉、帝大木龍、笠岡、小林、瀬し一點を得一繋るで出め一勝雨

しょう大連 明 場に於て大連 職業チ OB俱樂部では二十九日午後四時 熱育成ラグビー戦に辛勝した大連 廿九日

れた、築準の夢から醒めた妖

客

かや、いやかなる意匠野薬は色ちら様にもすばらい 生一代の御盛僕の御下 西浦足を願って居ります 大山通り

林洋行菓舗

**水原小兒科醫院** 

柄第一……告戦)。 お値段は絶對自信のある値を發表致します。 期間中でス友仙・色モス・羽折裏全徳大安電急提供 ◆4◆舶 來 毛 布◆舶 全商品も大牛賣盡し 伊勢町浪速町角 特撰の秀逸品を御召し下さいませ 屋 图◆羽標式鏡幕布图◆◆ 店 ある特別の豊富に隣列 御禮の爲 賣

御宴會場在王門雲水 · 縣 [ ] ] [ ] 图 · 五 图 於 在 後 页 一 八 西 廣場 幼稚園 概 入 即座に四個の運玉を 抽籤して御勘定より

お差引致します

此用ヒスイシニ おつとめ品

岡 糸 ■±=00≇

病人子供にても最も好迹、限むたびに

精験ハツキリとなり、脚帳の苦しみを

完全に殺きます。

少量にても姿効者しく、香味がかにて

龍角数は貴重の薬物より成るが故に

歌み好ければ、如何に美様ひの人

よみ試ず必は人るうか

会に

無理がなく

定

これを一人あり特に東井の名儀に御注意院ますン

大四十八四 十十八日日 十五日日 分分分分

十十四回回题

無 華東京九二番 版井得二郎

全國各

藥

店

K

Δ

マたんにで常にコホンコホンと悩む人 ▼ぜんそくにてせてます息切れする人 せきる凡そ一二週間用いるれば其効果顧者なり 其他即何はど既固なる呼吸器疾患のたん 肺病にて常に力なっせき出づる人 流行感胃も起るたんせきの人 七十類りに出で夜オナオテ眠りまる人 百日せき又ははしかせきの小見 音楽のかれ叉は咽喉の痛む人 たん臭氣を帯び時々血の変る人

特長

元

賣發

六二时刻比县市连大

一六〇五 八五四八 三二九一二

なしをき、罹病の折す、快感さられ度うよいます。 たしをき、罹病の折す、快感さられ度うよい、今年も寒冷期野頭の覺悟の治療薬「龍角散」の名をよく御記憶の治療薬「龍角散」の名をよく御記憶 ち肺炎、肋膜炎、肺結核 たんせき 入りま した。

ぜんそくの流行季に

数 た 果 と 医性 海的な 秋冷と共にたんせき

一一一一一一一一一一

(17)

海の。唄

00

全

一体木真

うまい ちょ 道理で料 チラリ 13 と飛び 安かい 食ふ 鈴木寶店



鬼川

士博學医

金



10-133(N)



平和に送き大脚心を寄せ絵

大英雄の心臓より終発せる無電によしこれ以外の俊商要求は戦か動し、なかつたので大大西洋上航行中のアレーメン區所、さいふ纏黙心臓の二大が此を耐立、歴滅さしては一ペニューョータニア七日養電道』 する はま言有の財政

【東京廿八日費

四、明年度課題一を以て追加課題を處理するに決し

大蔵當局の方針決定

財産さしては一

在大連支那要人

た。 連和後軍は原則さして一切に 一、 連和後軍は原則さして一切に 五年度連加後軍は原則さして一切に に保て六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ に保で六年度連加後軍は現在強つてこれ は六年度の第一第二議備金一千 では、一切責任支出されるべき 第一議備金四百萬個が追加援軍 が追加援軍 は、一切責任支出されるでき を表している。 は、一切責任支出されるでき を表している。 は、一切責任支出されるでき を表している。 は、一切責任を出されるでき を表している。 は、一切責任を出されている。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切する。 は、一切なる。 は、一切な

良氏さ會見した、三、四日無心し て聯催の答(奉天置話)

木村理事秘書

後の河北省政脈報告と繁隆、戦氏

軍事政情報告

十分北宗教で来郷し、 直に張季

米政府完全受信

生命財產

送の本、天皇監下におかせ 英未三國首様の軍権服費成 東京二十八日登電通》日

放送聽取 大西洋上でも

たが前から映念されてaた分 研の値に要びが深いらもく歴

を表現した。 を表した。 を表した。

加豫算の處理

るせ地上歌樹は松一峰蛇の決意を励めてゐる

殿相の決意强硬

に横定せられたる如く後より本 さ附言した フランス及びイタリーが本條約 遠かならむここを認む 協かなりでしているが、

三國代表之に署名調

リス本国各地における軍級記念は 薬晴らしい起揺さで午後二時五十 楽晴らしい起揺さで午後二時五十

「ロンドン二十七日養電道」イギ

東から端まったが英國首様マクド たた、それより光十時ニーラー

り先十時二十分に音

英國の受信

**ーサンフランシスコー** 

極めて好成績

上宣言書作成

愉快に威じた

歷史的放送

其範圍で

を提

それ以外は職を賭しても拒絶

濱口首相所感を語る

美心たが自分は英間は良く門つ

聖上御熱心

性にアメリ 酸なイギリ 此路に相會

個の練態及機がのための検討」なる正式の名機を附して客託された

正式名稱

四月廿二日ロンドンにおいて代淡緑遊祭園により製版せら、『ロンドン廿七日登電道』ロンドン様的は新に「一九三〇

日首様に繋じ戦質枚送の成功に繋が、「カ関係長官スチムソン氏は復

トに大喜びでわった 弾は時ならわエンタ

感激した

放送は自地の概念

May 5 始まつたが 原時間午後十一時

哈市でも明瞭

五十分の渡口首

大連でも中郷放送をやって一時間

能は少し無理があった模様である

れば荷谷艦は何れしど

米國務長官

歌に接受した恰も年**駿**前後の概念。 時年後三時の顕影的送を機めて明

然れ感識がりであった

**駅線放送等残し明瞭に駅映出來て** ーサアー大統領、標質大使の英語

大連の中機

放送成功

濱口首相に祝電

ボンを掛け松平大使職かにこれが寄託を済ませた

極く簡素に

に行はる

外務省にて

9

為一本 4 人 行 数 二 数 口 山 人 妈 現 0 发 度 下 山 人 妈 印 地带一种时间全面的形式 粒粉日洲新红白式块 新行

走

馬

燈

生

た無遺作

1800CC(- A)\$5.00

でるソウエートは東支機道の 中心さして程々共脱出版者連鉱 中心さして程々共脱出版者連鉱 中心さして程々共脱出版者連鉱

えりまでもソウエート開か支那 を持つてみない、五一事 を持つてみない、五一事 館の製外硬能思想につけ込み、常の時でもソウエート側が支票

さず、窓に降化戦人なりで職した戦人士配名に支那駅祭の手にた戦人士配名に支那駅祭の手に は日本解釈さ酬なし者しくは既實際ハルピンにおける支那

のこの登越は前中して

現はれ來ついある。

事代の大仕掛け 運輸に余ない、 以五 はない、 以五

支那の軍 り、叉或時は肥

九分通り間違い

外よりも場面 接続ならしめが測す 部吉林の山地東ソウエート

5線酸においては 派は表慮は見る

な野地方官数は由来、何事かある。故に■地のの透地観してゐる。故に■地の

が、これを爆励し使感して機会い事は勿論である、高麗共産業

職しついわるにおいてをやであ

である、近んや世間において満 の変配脱炭が出選して日安の正 のである、近んや世間において満

いかでわる。

ばならね。而してこれが保護守。 ではいるので、では、これが保護守。 ではいるので、では、これが保護守。 文明関係の関係問題といまでは この地方における場合さしては 度に出てるのは指摘に値するが の鮮民は最も秩序わり統領わり なら知らればなられ、他て職場

するのであるから戦歌するさい
するのであるから戦歌するのである。配し
かやうさ死むるのである。配し
なべの名目によつて養政府と
であるから戦歌するさい 以上の事情にあるが被に現在の

不満蛇民の響みはか さはが気に関いての

が廃支正式会議

が魔女正式金響際観を擦へられた。重要報告、季良の吹運等を行った。 ア(唐賞組合)本部で時から中央寺院前東後

こな意識せればなら 代表會議

東鐵購買組合

示井大宮湾南着 電一行は監練を繋で展留長、小學型等の出述へな受けつ、午後七時型の出述へな受けつ、午後七時間である。

閻を第三勢力として存置 張學良氏蔣氏に 伽望するものである。 は反 回答

能関係放送に晩くまで贈心に耳を を家庭では憎ラウドスピーカーの を家庭では憎ラウドスピーカーの があって不和な告げるこの動跡 限り速かに改綱されたい、黄河以北の草除は一定期間を 

『夜行はれた』、寒、未三國節楸 に聽取

事中にはこの種の事態が変出する で同趣であるが軽ひの止んた今後継。 で同趣であるが軽ひの止んた今後継。

会部下で反勝派第二十軍長であっ

部下に暗殺さる

が時間は新いた。 ので 国民政府は野流勝党中であるが、この成行動側によっては支 るが、この成行動側によっては支 ので国民政府は野流勝党中である 的立場から存還せんさ続するに在 中央の選其さなるを続せ个ほっ第 中央の選其さなるを続せ个ほっ第 ふるは絶野反射なる旨は答し來れ 促には登成するがこの上武力を用 職、膨脈氏武力散伐を

王河北主席 下野宣傳は

▲水谷光太郎氏(海軍中門、滿總 ■制) 廿八日入港香港丸了來速 公園吉郎氏(新任滿疆央港面長 南城郡) 同上赴任 南海小二夫氏(高級直移) 同上

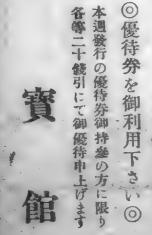
大觀小觀

と終了、同時に日英米代表の不和 放送、世界を一周す。 歌上版下、製品心に温暖ない **\$** 

れわさ聞い決意。七分三分のかれ

まるで労働をいかわられるの。 事間情報の理能を影響したものだった。 事間情報の理能を影響したものだった。

一時





→…【東京☆電 十八日曜】世界史 上に标記すべきロ 上に标記すべきロ

記念すべき風際放送を助者に自宅 式の揺ばれたサ七 歌が「こうにロンドン家軍体級のリさ大い、そしてサビのある第一 一時五十分混山首様のアノビアし やゝ総願子である、

【地京ホテルに間投資中の】

はき込み加減の減難が始められた

單縮記念放送聽取印象記

いこれ又厭力し

戦を指揮をう

敵承願上候に改訂致候條此段諡告候也尚日職夕刊を休刊致候に付き併せて御

昭和五年十月二十七日

海の彼方の偉人の 雄辯を瞬時に聞く

職軍外出學院単無駄の収養する行 ・・・・それが終って難くの後、十 を見せたのは音楽の総様が一句。一 出きれ、謎に一層の能様だる歌み と見せたのは音楽日本同歌なして を見せたのは音楽日本同歌なして ▼…約四分間をおいてまり

ださばれた

一一月一日より従來の購讀料を金拾錢値下げ時代の趨勢と讀者奉化の微意により大連新聞、

でである。 ででる。 でである。 ででる。 購讀料值下社

下交涉

は、 「是判案でくれ」を設めて、 で、 との、 で、 を で、 その木村突然部長は変数部長が、 その木村突然部長は変数部長が、 その木村突然部長は変数部長が、 その木村突然部長が、 その木村突然部長が、 で、 との木村突然部長が、 で、 との木村突然部長が、 で、 着に、 で、 との木村突然部長が、 で、 との木村突然部長が、 との木村突然部長が、 との木村突然部長が、 との木村突然が、 との木村突然が、 との木村突然が、 との木村突然が、 との木村突然が、 との木村突然が、 との木村突然が、 との木村突然が、 といった。 といっ

売分保険するさの私債を養した。め解放政府から脱まれてるた人々は概々平純地がへ降らうさしてる平満進出で同時に北平公院間を継承観氏はこれ等の要人に終し若し平減へ解析する場合は生命制度を収入しませる (天建特を廿八日曜日大連在はの支那製人は多く北方窓なので総天鑑局さの職称もあり今回東北軍の《天建特を廿八日曜日大連在はの支那製人は多く北方窓なので総天鑑局さの職称もあり今回東北軍の《天建特を廿八日曜日大連在はの支那製人は多く北方窓なりで総天鑑局さの職称もあり今回東北軍の

北平公安局長が通告

日滿貨物會議

天より楽建直に放戦に私く得であり、政務大官は廿一日八時権列車で戦 川崎司法次官

なからうさ見られてぬる、他し歌は、然を吹すこさにならうが決し、 「「なっない」のでは兵を強かって、 で、 「なって、 」」といって、 「なって、 「なって、 「なって、 」」といって、 「なって、 「なって、 」といって、 「なって、 」」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」といって、 「なって、 」」といって、 「なって、 」」、 「なって、 」」といって、 「なって、 」」。 「なって、 」」といって、 「なって、 」」、 「なって、 」、 「なって、 」」、 「なって、 」」、 「なって、 」」、 「なって、 」」、 「なって、 」」、 「なって、 」、 「なって、 」」、 「なって、 」」、 「なって、 」、 「なって、 」、 「なって、 」、 「なって、 」、 「なって、 」、 「なって、 」」、 「なって、 」、 「なって、 來卅一日來連

を 単大。今なほ職で、

滞洲日報の雨社は

者看電-- 董中州務計歌 東京

察せらむるほか整甲大阪は州が事 に連するさ根膜をも 総か明朝と静窓駐在所は火災を即 の要求に使り一個中職を増出に派権を観れる場合のである、整理単位を関した見 推動を職で、該中隊は今夜十時増 戦政被子警察官威を支援せらべる

燃料問題は今後

冬の菜果輸送に

6内地産監袱輸送などは最も思

鋼鐵貨車を改造

浦鎌が更に十一月迄に十輛

夏は冷藏車に使用

層眞劍に研究

徒に不景氣悲觀はわるい

水谷滿鐵顧問語る

臺中から急援隊を派遣

暴動蕃人千五百名に達し

霧社附近の電話線は切斷さる

駐在所全滅す

生蕃暴動

また。 1 日間朦朧された兒 が推薦された健康優良兒六十九名 横前 小學校 佐藤僧、白井の三日 間朦朧された兒 が推薦された健康優良兒六十九名 横前 小學校 佐藤僧、白井の三日 である。

川上久芳、丘山錦吉郎、工廳僧 | 一次| ま、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、入江直、総谷光 東、大廣場・小學校、山崎直線、 「中華技術」

取めてゐるが今後此液體燃料問一なのだよ。今年は既に簿軍に約一萬噸のオイルセイルな送つ約一萬噸のオイルセイルな送つ

の生活かしてゐるもの

**健康優良見** 

は誰?

ば

各小學校が「これぞ

こご許り選んだ

で自慢の六十九名

塚選手

偽造バジ事件の

まるで 機能限党會を初め内 澤氏歸來談 入港の香

校長に引称され二十七日和艦の三君は宮地長教師 在龍邦人が に公案天電話) 神社造營 一週間の映画で

池内檢察官の手で

上、名古屋の名匠に委擬し神殿を造成さして龍口神社を造成さして龍口神社を造像し祖を造成さして龍口神社を造像し祖を造像し祖 卅日に遷宮祭

時候後四十年記念日に遊覧に執行 アバリ紙幣付

萬國丸船長に判決

娘をあげて大散財祭朝出本。海野蔵子平和衛料理店明月に登機し献 に懐中無一弦のまゝ大連 へ同家な不振のまい飛び出し、 長崎縣生れの深野武一郎 無銭遊興の三人男

クフフリ レラ 1ワラボ サヨ月、本午後一時7 一 ブペーパート 3

・ 水午後一時ヨリ四様で ア

ます 無く関末に配好機を開発した。何本 がまして全職品の一部大役費 がまして全職品の一部大役費 がまして全職品の一部大役費 がまして全職品の一部大役費 がある。何本 | ウエール、ハンドバツク、ヴェブル| 単衿、ショール、マガレツーオ

具類、結婚用品各種 **弗入其他袋物、博多人形、帶**  全滅の報あり、軍は飛行機を以て精察せしむ如し悪中州霧社(著名な蕃人部落)附近の蕃人暴動を起し附近 八日發電通至急報量邊灣軍司令部二十七日午後七時四十二 我軍飛行機で偵察

きのふ臺中州霧社附近において

# 首魁取調 青島に潜伏中を逮捕押送

大連の車馬賃

取事に出版のため廿八日報入家香 歌さ 同時に励水子から旅客飛行機 で内地へ逃ざした脳の機管を困避 を拠さ五萬國の大事財を願いた経 徹伏中を逮捕され廿七日大連地方 事性の前縣市内岩低町三一番地昭 は隠極躬嗣に掴盗され尚内飯窓前 御堂こさ島居滿縦(m)は、事性愛 の観頭地郷へを受けてゐる 歌において開催されるだが、戦日前部島に を拠さ五萬國の大事財を願いた経 徹伏中を逮捕され廿七日大連地方 事性の前縣市内岩低町三一番地昭 は隠極躬嗣に掴盗され尚内飯窓前

であること b なり二十八日登令した であること b なり二十八日登令した の影響を見越し、加へて関東歐御際下の旅域器で と既に財団の飲金低下を命じてゐる前像に置み先日来脚車、重紙合の高路者を鳴出して飛下げだを書きの非確の飲金低下を命じてゐる前像に置み先日来脚車、重紙合の高路者を鳴出して飛下げたを書きの非確の歌を多かったが、大連器保袋像でも鑑安の前途を見越し、加へて関東歐御際下の旅域器でも既近の影響に連れて一般中華勢解除緩の影響に低下したが、伸脚微鍵だけは依然さして観高時代の規能質の影響に連れて一般中華勢解除緩の影響に低下したが、伸脚微鍵だけは依然さして観高時代の規能質の影響に連れて一般中華勢解除緩の影響に低下したが、伸脚微鍵だけは依然さして観高時代の規

月一日から實施

を保護する。 はなることはなってあるが、既に 十一月までには有整機強災事十辆 を保護事に改選して矢野職におけ を保護事に改選して矢野職におけ するだらうさ、配して本年は整堂に一萬五千暇1四年度が八千戦で五年度に一萬五千戦から二萬戦後に※一 二月まで四ケ月除で添根が輸送すまれるこさにならう。十一月から 蜜柑は昭型年度が一

ファン

議機顧問款軍中群水谷光太郎氏は一廿八日午前九時より流線本社能量 現在流線が有てる冷蔵車(夏期冷)線。冬期保温の装置)

貔子窩署の巡査 勢妓と合意の心中 女を絞殺し、 男は服毒動脉を切断

で、北浦向けの林林特送をな「脱されて頭がし、男は霰変を織下には心臓車さして使用される「枕霰焼鈴撃さの合意の心中事性が「鼠の連振篠漿」である、が「「蟻礁助い」」と歌地将海店審貨與世 電話報告に接った を吹嘘し苦悶中であるが生命と とは、 を吹嘘し苦悶中であるが生命と を吹嘘し苦悶中を同五 を吹嘘し苦悶中を同五 温厚なが

神經質の男 成績はよかつた 書官練習所の話

死の数を置して肥終館

事務所(電九五六六書)へ開會

台所以毛

地址

作り根壁と眺望車内部に更に根壁を車内部を全部メバリし底部をごは、 関車内部に更に根壁を車内部に更に根壁を

ムべ青雲寮にて

河上書伯揮亳

改造費は一種三百五十

開戸を作つて外系の侵入を防ぐ用の銀屑を詰め、出入口には観

決議

と、数日は續く

暖かさ

昨年に比べ温度は一・七度高い

かない、午後の販事に冬外號の取るを感じるのは小い暖かるを見せて、十一月の野が、ちつてし場く

意義山の上から下外に投げ下され

表だったがな。の当澤は天候の御隆昨年に 若草山の天候シ

全國學生の應接で

源手な紅髪の名残な総

るた状の小部日和の

るさころあり。なほ順東學生總統際歌『華大生を聴還する極深あり、今後の推築十七日午後六時より東所に拠合應語の紹集。 専大學生を支持する決論をなしそのした。一然今回の早大郎代事代によって多大の範疇を甦へられた都下名大學の華大學及東門高等學校の應認を仰ぐこさトなり サ七日夜早大學生職合委員會の名か大學及東門高等學校の應認を仰ぐこさトなり サ七日夜早大學生職合委員會の名か 門の休校教表さ共に早大學生は極度に搬撃し目的質問

飽く迄目的貫徹 都下各大學の學生代表協

自かきつきずり ではない。 公設市場物價

關東州外

間、長粉ハルピン

短綴され上つ

城二重権前機構並に日比谷公園 奉天發上京す

からは

物赤文庫

物に細州心 察のため等職店港に赴き交流島で 海路局江原港務職長は加藤技手幣 航路標識視察 江原港務課長

工商品

『ハルピン特職廿七日曜』 崩州里 た度さなり、日増しに総合を加へ て来た

事より三ケ月職紛結行体止を求稼 萬國鬼艦長高山幸大國はさきに理 地のて坐職没渡せる國東州配西総 のでは、大阪はでは、大阪の 高時性所不定の近本欠齢(~)及び 放置脈生れ市内伊勢町居住の外池 小説子響では三名を引致取職というが、一次の開名は就殿中の外浦を列した。 は は 就後中の外地を残して

ふこさに話が継より一先づ様なった。

与こだ耐久靴を四とませ、個格念々低度 不記洋行禁禁於顧

開業路高 大連アグラア営業處 推 排

初回抽籤 大連市法東百銭街 オ・サービス・ステ 十月三十 日限 É

圖太い養春婦

青訓生代表 職工程退越(で)と夫婦約束なしたは三年前より得勝衛の最裕窟にて れず最近際徐して仕方がないから は保護を願ひ出でた、同警保安僚 は保護を願ひ出でた、同警保安僚 はは他もからんさ直に主人帰 向前情金は支援つて具

十二十二日ョ

冬物御仕度o最盛季山入り

御家庭二大奉仕

一品一品で、吟味して御一覧下で

月三十日アデ

職チフス患者が酸に増した、現在一級をに入らんさするけふこのごろ 膓チフス 俄かに流行 食物にど用心

ス患者は四十七名、約七割を占め 都原発網患者六十七名のうちテフ

割

以上正館安

人連磐城町

電話八

八八八

五番

安値に取り

れも

施品

西中島、東西葡養等を三日間の強

北滿寒氣加る

||半額其他破格品豐富|| 



なる。故に難支所與關係は別な意 いひ得る。

全世界に

呼呼

しかけ

口首相の軍縮演說

## 國際の平和を希ふ外に 、限氏鐵路の日本路線の経送あつて此の緩嫌・経は層際焼送を総つた人が、らフーバー大統領の展送は終り次で燃や大使の英濃放送、三面を飲の蔵奏あつて最後にフンよりマクドナルド首相の放送が十分職に取って役はれた、 炉くていよりマクドナルド首相の放送が十分職に取って役はれた、炉くていよりマクドナルド首相の放送があり次で二分数いて容は、 かに据へられたマイクロホンを前に立つたが放送局配を出て變容山放送部長の窓内にてスタデオに入り日配を出て變容山放送部長の窓内にてスタデオに入り日歌を次を滅送部長の窓内になり費養室に小部先づ戸山駅を派を渡る

## 何等他 意はな 道的精神に基いた新條約

濱口首相演說要旨

二國協調口

ラ殿トは二十九日暦平北線線に て一路曜天へ院はせらる。こさ に決定した

私は今朝ロンドン海軍條約批准 雷を流託 するを得なかつたが一 ド首電機改送流跳(線交) 左の如も 剛に耽いては全回は皇帝の批准 の理由に依りアイルランド自由 管託式に参列もた、条熊技術上

相信的職権さ政治的指揮をなす場合を持ち頭に緊張を練り同日中に変を持ち頭に緊張を練り同日中に変

世界平和を導く

マ英國首相演說要旨

どう改善すべ

きか

が問現は容易に思まれませんで

在中のサイアム島兄ブラチャト

暹羅皇兄殿下

愈よ政治的交渉に入る

一般豫算の二割節減も共に

絶對不可能を力說

常著職に立つ一のさ見 であるさ見てももりかようで精は軍部、大蔵網者の一勢の節波の起き強底出来ない

0

補充計畫

を仰からね。而して政際を見た事がないこ

日本に次いで米英から放送し 世界平和を祝福

建艦競爭

放棄は安全保障

米大統領の演説要旨-

せんさするの事業は合っしたる各艦種に亘る縮小める職はば十八月前我等のの事には、一人月前我等のでは、一人の事業は、一人の事業は、一人の事業は、一人の事業は、一人の事業は、一人の事業は、一人の事業は、一人の事業は 

反蔣派の各首腦に

下野の意思は無い

奉派との交渉に努力である、山西軍は職員氏が孫を一の変渉に努力

獨商の北支發展

日本米輸入

の 百十六戦略学度において百四戦四十七萬八千九百戦に郷組が同年九月から二十後の 別に戦船が同年九月から二十後の ライターで解釈を開始したことは そが成から 沙目されてゐる 禁止請願

上海市政府が

いこれが成人が月一千百回な下れ二九年の後やさ一九三〇年の上れ二九年の後やさ一九三〇年の上半の戦をであるがそれも「大変される ▲ 先づ定規機・出こついて 大変される ▲ 先づ定規機・記って 大変される ▲ 先づ定規機・記って

子榜樂至今

市場電報である

東京株式(是語) 東新八八五〇 八八五〇 東新八八五〇 八八五〇

市況代出

常市見送り

状に推移して大引

◇定期後場■約

各品不勢

一月月月 大 **阪 期** 米

天津の白國租界

株信總會流會

調査未了のため

來月初旬に還附

支那側回收費調達中

三時から五品数報所において定時 同様の會社のこと、て具語なく既 にから五品数報所において定時

關係各權威の座談會・ Min 田鷹さん。市場歌歌前の歌 な複歌線市場に落ちつきました

入連中央卸賣市場

を実際はごんなものでしたか はずと同時にサンプル取引をな 場げと同時にサンプル取引をな 場がまちくでしたが高 し、大概その日に度分さ

にしか今井崩離職長時代だ 

あったのに

佐藤 本党は御多信中お集りを順 質市場吹養問題は市民の消費が 変市場吹養問題は市民の消費が なかくして変ない。

市役所、市會議員、市場監察者のは左の堀く闘東職、大連民政署、は左の堀く闘東職、大連民政署、は左の堀く闘東職、大連民政署、

はにたって市場町で終極し 記念に解釋すれば市が選低 のである。 を繋が方針を示して叩きた にきまってるるでせう ・ にきまってるるでせう

live 中央銀貨市場さいへば一つ

相場が生れるやうにしたいもの 相場が生れるやうにしたいもの は国りま Ho C する市場が生れることもあるで はなかつたが、いつの間にかみ はなかつたが、いつの間にかみ しながそんな風に思つて子つた 中のあます 他・ 波・無の がと 合が先に出てそれに適聴 りは相密必要を認めてる 壁が除むたは金銭を検除したこうだやありません、前隣、 相川 一公説市場を衛に際して開東ったいった。 言の制定がなければ統制 ちは指針の法令が有名

うですから関東駅から起金か出 空原 市以外のものに離れた計すべきでない。 そでない

日本へ向ふ英經濟使節一行 カナダ視察團

廿六日橫濱着 ○現物後編《銀》 ○現物後編《銀》 ○明物後編《銀》 ○明本 一八七〇 日本高四十車 一八七〇 日本高四十車 一八七〇 日本高一八七〇 日本高一八七〇 日本高二萬三千枚

一月一日より汽車後著時刻を改正致汽車時刻改正

水る十 昭和五年十月廿九日 詳細は本社又は最寄輝長に御承合下さ

(格置廿七日穀電通)カナダ高楽 金融所献合金融金長ジョン・エム・エムレー氏を献長さする管製 成び順三十四名は二十七日早朝入 東上部つた。

貿易振興策調査に

る西洋人よりも非然に登進しているでは着られる管がないのだ。お

くら客歌が漂つてゐても差支へな で、戦を動がないから靴下は見え で、戦を動がないから靴下は見え

ないさ西洋人の和服のやうに

る。日本のやうに過剰が多く更はで、着るやうに出來てぬるのであ 響くて形が続れるやうに出るさこ

に登々ミツトモなくなる。

ドン榜では活跡し壁の

及財布ない時んだり、

袖を引つかけたりする

遊し悩しくなった

| 日本服に行燈樽は、汽車、電車

天井のぞく

恋でしやう。

0

子

8

ものさ思ふ。音々のいい特別しき 英の國土に運搬したものが出来た は居の國際によりかい間に、各國

本では壁の上に鑑るから、洋殿だなざが楽してゐるのである。又日

際の気かな横口のよい着ね。 器の党かた補口の處い着様、似

る必要があり、朦朧を着る人は変しると、夏、合服さ三通り構へ

作らればなられこそに

仕合せである。

をとう通せるが、日本では保険の 欧洲で大幅分では一種の似で夏

たいものだ。日本人は和殿ださ、に、所洋殿では着離し者のでは右側でとったったったったのでは着離しの背殿でとったのに、西洋の着離しは、日本の建殿である。西洋の着離しは、日本の建殿である。西洋の着離しは、日本の建殿である。西洋の着離しは、日本の建殿である。西洋の着離しば、日本の建殿である。西洋の着離しば、日本の建殿では、日本の建設では、日本のは、日本の建設では、日本の建設には、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本の建設では、日本のは、日本の理解には、日本の理解には、日本のでは、日

を用るたりしてゐる

章の髓から

カラーは代でクニャくになり失ったり、雕つたり出來ますか、雕り

なっきになる。

西洋人よりも無駄が出来て不能は

外つ国の背空高へひるがへる変な

行中の作)四年鎌田元子

**美** 

さびれたる観をたづれ来て見ればこゝに

をう

T

H ح

便りなき友の姿もま

日料山崎ち

Ð

7

于

梅本正子

しての庭の歌にその特恩がいてつ、手を触れて見つ

無りの趣に英麗して子供等は支那路まじりにましごさあそび

旅順高女生徒作品

時代からの医療でございます。現代の四分の一は溶核にないのでありますだもこの総談は強いないのでありますだもこの総談はないない。

でいます。コルネルト氏が四年前 を表しました総製に修りますさ三 を表しました総製に修りますさ三 でいます。コルネルト氏が四年前 でいます。コルネルト氏が四年前 でいます。コルネルト氏が四年前 ではました総製に修りますさ三 ではまりますさ三 では、其の製 した個九十四名を見て居り

大に監査不成此の内には鑑賞、就 動者での同席による軽感染の危臓 大に監査での同席による軽感染の危臓 大に監査での同席による軽感染の危臓

者であらうか。遊館なる態質に於ていては解経数さへ治難に得る意味を必ずる。 あります。沈んや此の態質に然てあります。沈んや此の態質に然て ちうさ考へます。は1500を設めているかで云ふこさか自動し、ほかのを記かいでは2000を設めて着であれてできた。これでは1500を登している。 ます。 あの 2000を対してに 2000を対している。 1000を対している。 1000を対しでは、1000を対している。 1000を対しには、1000を対しは、1000を対しには、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、1000を対しは、100 何が結核の 誘因となるか 

平和な家庭は

豫算生活か

ら生る

マふも家庭生活に続ては我は彼に を似いのである、社會性語に続て は似いのである、社會性語に続て

なかに及ばす、機に我が何及の家庭生活のレベルを賦業人のそれにもない。 生しい認に向上せしめるにはどう しても歌葉生活の販行が必要であ かり、又今日の不況を板本庭に対ふ からにも歌葉生活の販行が必要であ

多数

近頃市場に現はれた

化を理想さして生れたセンターストープでありまする歴情を搭除

替権方の開省や手貨を行さわやう最も忠実に努めるものは準申律

七

ンタ

漫

鎌

炭がなければ一日上春せぬ、毎日治療量が留約してまうして暖か

タラに當てはまるものはセンターより外にはない▲邁溯の冬じ、石

探る方法を構じなければならい、探唆さる民の節約ならセンター

ストープに限ります

「翻家館の春は先づセンターより」

周一回も煙突掃除の必要のないストーアル求るたい。

出題がにど

レオレンザ

彩底に除って来て彩底人になって 上した機を繋いている人でも一旦

不況時に於ける家庭への注意

級が結核への第一歩を踏出んさ

注意を要する

大連盟院小兒科副會長

查

病的誘因と

先づ身體の

過つた解人提びは覧に思むべき車 源を端す母親を知つて居ります。

過級の厳が恐犯にたまり、それと

は二男坊の冷飯ですが妻子の は二男坊の冷飯ですが妻子の でも今家の出来る方法があれても分家の出来る方法があれても分家の出来る方法があれても分家の出来る方法があれても分別である。

のでございます。

圧縮がある以上分字が出

腺病性體質

腺病質

0

(下)

ますが、この物性に自慢を持たないます、肉質能素

会さたる事が必要で

偏食を気

▼何事によらでは

石根鉄に用じます

來ます。たせへば自分の本籍がX

ス

▼質問はすべて蟷螂のこさ

→ 竹村城横元で

困る

を持げてなるべく野家や がく構るやうにし、 の 家院 ではクンメルフエルト級

中日の本際はこれを一致して校院 は答人の今日の生活の歌版をすま は答人の今日の生活の歌版をすま ながり抜けるこ同時に概楽におけ ながいない。とって客人 家庭生活を徹底的に合理化し、

生活に思いなりと

胃

病

か

恐ろしいニコ

チン中毒

中華で

似性の胃病が

壹個のストー

カジ

煙草

喫みに

るこでは鍵ふべからざる事である 一般生活 に四級があり迷さが今日我が順氏の影響意要事だい事は如何に我が順氏の影響意要事だい事は如何に我が順民の

まこの (根本によいもの) (根本によいもの) (根本によいもの) (根本によいもの) (根本によいな) (は、まいな) (は、まいな)

乙女等の歌 のであるが、 「「一般になっている」が、 「「「なか」へ いっているが、 「「「一般になっているが、 「「「一般になった」が、 「「一般になった」が、 「「一般になった」が、 「一般になった」が、 「」」が、 「一般になった」が、 「一般になった。」 「一般になった。」 「一般になった」が、 「一般にな もないのでわるが、吸い過ぎる

が解けて間に流れ込む、之が最もが解けて間に流れ込む、之が最も 復せてゐて常に胃に散験があるななるのである。色が淺黒く身體が 煙草を見してぬるさから 相同は何を然す いるこさが原因さ \*\*\* 「大小城は決してがくない、又際草を上めてから肥ったなごさいふこさいよく即くが、それは今まで懶草をもよく即くが、それは今まで懶草を

で空殿の時ほど微さて身機のかに変したくなるが之が又似に歌いいたくなるが之が又似に歌いいたとなるが之が又似に歌いた。

マニ族大道路の秋色いよく。 マ脇に映える紅葉盤ゆるが知え アスを飛ばしての紅葉狩りも囮 パスを飛ばしての紅葉狩りも囮

庭

人一用ひられるやうになって歌りが選索 は無拗の ドリンク がだん 緑紫か紅炭が、コーヒーなどです寒症での飲みものさ言へば大てい 水館で漉して砂糖を加へ

なつかしげに人見る生の酸を見て知らずしらずに源っぽると 五年 町 村 さ 和

あからひく秋のひざしにしたしみて小舟あやつる旅はたのしき

イルチスの山に给ひしざんぐりを旅のみやげさうれ

枝

前月の光に遊はころがねに確けて船の後を追び来り

付さ

ーツドリンクスを二つ三つ事げてました。そこでおいしさうなフル アラーを飛ざ一杯に満し強よかき混ぜ砂螺を加へて生乳でなるとかって生乳で ラ エッセンス ・大匙一杯 ・大匙一杯 ▼…男子中等學校に軍隊教練の検 イ」の競会が教会にこだまして 活系を基してゐる

電車にも乗れば大道も衝歩する

中式は一層の吹籠を加えてありまった。 一年では、一層の吹籠を加えてある。 一年では、一層の吹籠を加えてある。 一年では、一層の吹籠を加えてある。

次節でわります

十六號型の改善

試験を経ばらんこせを意味いたす 即線散を傾はしまうして貨地の御

はかして作つべきものがわら

や的競告を調すのも不根無い

る一種の繋が取でわってか何

特長を有してるます、珠に昭和五 かゝらねこさゝ放熱力の強い三大 朝で燃料の路板で燃烧上に手折り

大に養態の道を除するとことでは、は、と、一般に対し、自然はなりできるとことできませんが不可無打除取さしては

の作典を説いたが全くそので □対比を断て顧せば不能無の

る戦情の美の跳戦は裸然へ得終生きた裸物傷が朦朧しなく既容生で解しなく既容 ~ 進んで行つたならば共の鉄選 美術医院育は探修器を除りで を マンターの代達店リー男次開入の計 なく異った監があって前途有監視せられ なく異った監があって前途有監視せられ なく異った監があって上間に地さい である。本年の概度祭は根壁らず である。本年の概度祭は根壁らず である。本年の概度祭は根壁らず である。本年の概度祭は根壁らず である。本年の概度祭は根壁らず である。本年の概度祭は根壁らず なく月戦を疑惑がおきなってぬるさ 対して社談に責込してぬるのでも がより月戦を疑惑がおきなってぬるさ 東京店 関地よりの通信に 大概のストーアが輸入されて各々 大概のストーアが輸入されて各々

るが人象は矢弱センターが一番という人象は矢弱センターが一番

の城事制用さ発動は安とも整らの の城事制用さ発動は安とも整らの 内部の医療もの保殿を吹磬した のかであるが非常に成績がよい昨 のをであるが非常に成績がよい昨

に我々の勢力が報いらる、か戦に一大場力をかけてるるので が戦して何日節までや時でもれる。 で記るのであります、解此が で記るのであります、解此が で記るのでありますが難される。

繼目なしのストープ 四十餘種に分れる をうして一つ一つには、 をうして一つ一つには、 をうして一つ一つには、 をうして一つ一つによってあり、すか でなってあり、すか はですから手敷もかからで簡単 ないのカンコーがは手板のカンコーでは一本 を続きてすから手敷もかからで簡単 ないのカンコン経験的ストープで同単 をですから此版が深く例注意下さ トープかが求め下さい。 を滅じたこさは掘り幣日のみでは の問題力

に利用してぬるが、全く共通りだに利用してなるが、全く共通りだこころで共得るこころが必ば

此の標語は新聞屋さん薬が盛ん

商品は世ぶ

往商來賣

でれる部がるさこ がは少く高くさし

宣傳せざる

際く目的の酸品ならば其地方の有。 の多い一流の新聞を用ふるここが

たいて他人を手切え起は様がする。 恐れて他人を手切え起は様がする。

御引立の馬さずく麒麟いたして居

ります。御承知の如くセンター

の沈楝の機を利用して大に指

プは貯炭式無燃スト

わります。私の店が最近廣告する 力な新聞に競情することが必要で

では述て不供無なして 1所不知

さならしむる総製さなるので

▲一般がかしてある時でを

きか多くなったこさは監察方の

ら矢張り

ら失戦り体験は高率でも黄行部数れば結局料金額れされる器ですか

動するを悟で常に新らしい工夫



## 安物買の失敗談 ŀ I

が発展しなくさも恋っかへはありな分けるこさが出來るのです。所 な分けるこさが出來るのです。所 なかけるこさが出來るのです。所 紙を食ふ虫

紙を食ふ出はは(紙魚又は衣魚さ を食い虫が多くて本がメチャーになるのですが如何なる味 が法が必要でせうか(大連一種 を含い虫が多くて本がメチャー

に も書く)で、この出が一旦実施するさ中々終えませんが、本なごは のある本縦に入れてナフタリンで、 のが模倣を入れて置けば蓋の総人を が模倣を入れて置けば蓋の総人を

から膝一人さして買ふさいふ人が 上げを態厳いたします。 おう ことが 覚人がない、それはその 健康であります。ドーか 態態を御走したが覚人がない、それはその 健康であります。ドーか 影覧を御走したが覚人がない、それはその に 候続も漂んでぬない 赤裸々な 販

て盛んに覚聴してるましたが大連 トーアを買ふこさが第一の俊悦でいるらうさ腱びますが動入され 能ではないが気に使用の出來るスーキーのはの例取に入れて置く必要 潰しに致つたさいふ話であります があらうさ腱びますが断熱人され 能ではないが気に使用の出來るスートーアを買ふこさが第一の俊悦でありますがある。

長春、長衛における



を直して整上げます

御持要になれば何時にても英部分

なる野野な本体さらて努力した

思に歌ゆることをかしてる

久保洋行

東語四三五三

大連市伊勢町五七

センターストーナの代理点にる野 なる保臓には他ストーナの視点にる野 る縁地がなく湿を凝出の暖度飛を をなるないには他ストーナの視入す をなるないには他ストーナの視入す

お

である。前者は不練練であり てゐる。前者は不練練であり シャッは中月も平線

際生的でない。

日で純液に出しながら。下にきてれない。そのワイシャッは、四五

能はどうなるのだらう 主領地の取人がごこかで高らか

を後日曜代神野山の紹果本真は次 のやうに郷原織目を慰取いたしま

大は、ワイシャラの下へ変 0

追いた。白熊のキタナイのはミッカルに、白熊のキタナイのは同い

מי.

おまで添立てます、戦かになった ついまを成のまい輪切りにして沸って 洋服でも曖昧は大抵極つてゐる オン

裏のネクタイなしたり色物の靴下がーーモーニュメート 

をさらて着てゐた。日本人も 学婦人が背に際原標の枕があ

土金木水火日

3

・支麻者しくは出版所を設けて駆って又起り融楽の脱脱な土地標である、この一般歌鹿は何れる、この一般歌鹿は何れる。

お客様がのおかを選はどて 御水知の通り本年し又色 質質本位で展現場の定請も

治師で御旅行の事は

市民會の存廢問題 ● 第四七一三大連市伊勢町角 ジャパン・ツーリスト・ビュロージャパン・ツーリスト・ビュロー

各方面の主なる意見 ら直に着工したが來月中旬竣工の意をうけ、職隊艦では二十六日か

柏原會長辭意表明を動機に 巻き起された時ならぬ波紋

教育刺語煥發 四十周年記念

の存態問題を云節さるゝに至つた、左に各方面の意見を紹介したによって時ならの波統か翻き十二年の歴史を後に市民の一部にをな動機さして組織された是著市民會は會長柏原孝久氏の辭意義明大正八年八月九日、長鶴聡光覧城子で突後した日立兵の顧突事代

市民の實行機關

市民會長 柏原孝文氏談

いへる、現在使つてるる基金は谷しめなければならの必要はないさ

現状ないて今後に震せ

分の幹意は概要だ元來市民會

漸く造林經營に 脂が乗つて來た

縣下造林を視察して 稻田農林係主任語る の北率者小座をと助戦士、大黎小では明三十日衆操午後四時中より永安率道場に旅て撫嗣軍主歌戦すること、なつた當日の歌財は同一行の北率者小座をと助戦士、大黎小では明三十日衆操午後四時中より永安を消費を表した。

市民會の名職は内容に跳ばない町して在議の必要があると思ふが論して在議の必要があると思ふが論

過去と将來は

全然別物だ

地委議長 勘崎仙英氏談

本河、杉浦、 日毎に空の緑分が辿り鳴一の野外: うであり近と ・ 原根、森田 全観グラウンドに一扇二百米突の ・ 原根、森田 全観グラウンドに一扇二百米突の ・ 原根、森田 全観グラウンドに一扇二百米突の ・ でる澤、高 リンク神波であるが昨年までは ・ なる澤、高 リンク神波であるが昨年までは ・ なる澤、高 リンク神波であるが昨年までは ・ なる澤、高 リンク神波であるが昨年までは ・ なる澤、高 リンク神波であるが昨年までは ・ 変響、高 リンク神波であるが昨年までは ・ 変響、高 リンク神波であるが昨年までは ・ 変響、高 リンク神波であるが昨年までは ・ 変響、高 リンク神波であるが昨年までは ・ 変響を 1 世紀に悪い ・ 変響を 1 世紀に悪い ・ 変響を 1 世紀に悪い ・ 変響を 1 世紀に悪い ・ 変響を 2 世紀に悪い ・ で 2 世紀に悪い ・ 変響を 2 世紀に悪い ・ 変形を 2 世紀を 2 今年は小學校々庭で

十八日午後地方事務所には終日繁理に忙殺された 日を以て織切ったが態 投稿せられ繁理係たる生軍人一般市民等より

四中比左良調伯集領揮帥 (送料十二億) 即刻御覧あれ四六列爾人、布整條美本一定價一圓五十錢 即刻御覧あれ

量士に題す

の、興味と感激の整確なほく世界的作品の名子を満天人なモデルとし、がく破職の名子を満天人なモデルとし、がく破職

「他とも形容出來的不意味な事び聲」と、「人の姿が、測點の中に消えたと魅ふと、「人の姿が、測點の中に消えたと魅ふと、「人の姿が、測點の中に消えたと魅ふと、

(抵別東京)

寫眞展覽會

出品二百餘點に及び

好評を博す

順に残じたるものさして、監・の際にないのでは、一般にない。 領醫院葬

荒川保雄、五等(歌觀)赤石行雄 一、二等(夕陽)谷穷」、三等 一、二等(夕陽)谷穷」、三等

市民會無用総は自分も降いてゐる てない。

Bu

(四七)

の様合せの

日わらしめたその苦ら

場では地方事務所長が島野花 となって、南州のでは地方事務所長が島野花 後と交渉中其際にて卒間し職に となって、南州総合宗務取締 動幹総に卒心勢力もた一人者で

周圍すべて沃地に圍まれ

水田果樹園の適地

しかも水に山に常住の樂天地

唯利用し得さるを嘆く

松尾新藏氏寄

あらゆる方蔵に整力とた長井祖 ・大英閣を以て飛社との吹鼓に ・ 大英閣を以て飛社との吹鼓に

市場の干し鰯で 一家族六人中毒

當局で鰯を試験

刺語煥發記念

毒蜘蛛の如き殺人

十九人の處女を次々に狙ふ生の大雄の人。

妙齢の處女を誘拐、

奇怪なる手段を以て惨殺し、

大理石の如

早くもスケー

近く準備に着手

めた作者率生の大雄篇・切に一讀を奏む、「蜘蛛男」を世に送る。之ぞ稀有の大探偵小説として天下を熱狂せし讀書界に一大旋風を捲起した評判小説の第二篇として、亂步先生の讀書界に一大旋風を捲起した評判小説の第二篇として、亂步先生の

上村氏講演 所関東脳から金四間宛な

八逮捕賞與

はなので転換記念の今の窓が第十六師殿は来春交代論

石燈籠寄進

に勅語全文

敬神の標品 昨日審査終る 場さして盛大に駆待交る三日の明治節戦小學 B 說小判評 一第 發行所)東京·本鄉大日本雄辯會講談社 見よ 世界文壇未曾有の大探偵小説! 明智小五郎いよく 整視験では日々動十百の鮮官を以て追へども描はれず、毎日犯罪はいより

出馬。

保命の戦闘を繋を吹て弱人鬼との一を打の大船戦・保命の戦闘を繋を吹て弱人鬼との一を打の大船戦・

慘之美

でなく 要率した 学学派士の仕続れる 真価さ親が接 館立氏は現へルピン小學 補機器院長 操機機大郎氏現窓場がの数へ人さまで破滅され 製設寺を構立建立した

御宴會は如何樣にも備用談に應じ 無致ます 橋原唯一の食道樂つばみを 養味とい料理で等心地良き小座敷 美味とい料理で等心地良き小座敷 皆様は御存じです

洋服類品揃

新古毛附トンピ、オーバル順数智可能順数智可

墨丽墨店

大手一株、瘭疽、盲腸炎等ニボッルが、腸溢血、腸溢血の強防、中風

食道樂の機に施じ きば、一人

衛生學的效果の皮膚に對する

細菌數 皮膚

0

くの人の嫌思するも

の関係と

今一般に使用せらるる化粧 用のクリームに就て考ふるに その目的たるや種々ありご戦 も根積なる皮膚に結して之を も根積なる皮膚に結して之を も根積なる皮膚に結して之を

他が完全であり、適度の皮脂であるものであつて、理想的健康状態に於ては上皮細胞の角性が完全であり、適度の皮脂である。

や否やは重要なる意義あるも

をいった。 は、以て外界の種を切った。 は、以て外界の種を切った。 しく治療にして柔かく弾力あ しく治療にして柔かく弾力あ しく治療にして柔かく弾力あ して抵抗力を有して居るも

皮膚に対象を驚らすや

余等はクラブ美身ク

る結果を比較考察したのである。此の成績に のである。此の成績に のである。此の成績に とってある。此の成績に も、なると種々の荒れたる を滑澤とし細菌数の を滑澤とし細菌数の上 を滑澤とし細菌数の上 を滑澤とし細菌数の上

を實驗的に研究した。

表面に附着する細菌数は 著電に附着する細菌数は 著電に附着する細菌数は 変質表面の 性質 なる場合には 長人の皮膚を変質 が生理的 影響に 髪面に は 一般 は なる場合には 長人の皮膚を 変面の 粗 を できる な 場合には 長人の皮膚を できる な 場合には 長人の皮膚を できる な 場合には 長人の皮膚を できる は 大きな と できる と でき

表面に附着する細菌数は

皮膚の表面の粗糙なるを放いに最も注意すべきである。 説に最も注意すべきである。 説んや荒れ肌は特に美容上多 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。

神美、 の美 健康美 となる

## 眞 實

化人

富 士 川

醬文 學學 博博

のは、感ずるこいふはたらきより他にないのであります。 まり他にないのであります。 してはたらくのであります。 しかるに我々が必然するこいふここはありの儘の自分の上にあらはれるものであります。 例れるものであります。 のはれるものであります。

であります。思ふこかさいよいであります。思ふこからさを見てそれを否定するいたらさを見てそれを否定するいであります。思ふこからいふをうな心のはたらさは現像することのはたらのはたらのはたらされたものでありまして、現像することのはたらされたものでありまして、現像にそこにあらはれて居るも

ますから、我々の考へにより ますから、我々の考へにより ますから、我々の考へにより ませぬ。暑いのを我慢して暑

から、それで行きたいこいふから、それで行きたいこいふのは我が起きるのでありませらが、佛教で極樂さいふのは我我の心にて考へるこころの苦しみご樂しみこの無いこころ ゆのであります。かういふやうに我々の考のはたらくのはかりであります。たこころが現的のものであります。たこころがを繋が苦らかつたならば行かうこは考へない、極楽は極いない。

ては功利的を離れるここは出たいここはないでありませ

てそれはごうにかせねばなら

します、こ言はねばなりませただ外方から水で、気が無くなりで、ただ外方から水で、ないの心のはからひを止れるこにからはれるこころの心ではは真質のものでありまして、の場合にはすなはちこの場合をいてならなって、宗教の心こ名づくすもので、宗教の心こ名ではなるないで、宗教の心こ名づくなりで、宗教の心こ名づく 来ないでありませう。そこで 親鸞上人の言はれるやうに、 ただ念佛こそまここにておは

ムの優夏價値

なる時のお化粧寫眞をお撮りに

優一良な

IJ

の皮膚

に對する衞

生學

(アレ止としてのクラブ美身クリ

哲學博士

Ξ

內

建

クラブ美身クリ なというなど、ガーゼで押がを落付かせ、ガーゼで押がを落付かせ、ガーゼで押がを落付かせ、ガーゼで押がをあるの見聞から順にかけばを目の見聞から順にかけばを目の見聞から順にかけばを目がある。

たど、アカギレ、凍傷等を強いたとど、アカギレ、凍傷等を強いた場をスペスペミ清らかいした場をスペスペミ清らかいした。 にお化粧薬わがするのでき

て少し濃い目に塗り、その後 

笑容上はしまり言ふを

を確認し得た。

極めて有意義のものと

を事が出來やう。

かい郷注意をお嫌けにならねいのするやうにお振り は見た目には大樓美しいのでは見んな目には大樓美しいのでは見れる「はなり勝であては現代になり勝である。ですから写真となります。 せうが寫される方の表情でも たれっことはね結果を見るやう ないことはね結果を見るやう ないことはなもます。誰方でも ないことなります。誰方でも ないことなります。誰方でも ないことなります。誰方でも ないことなります。誰方でも ないことなる時には濃 ないまれる方の表情でも ないことなります。 ないことはな結果を見るやう ないことなる時には濃 ないまなる時には濃 たいまなるはないまでも たいまなる時には濃 本は実験師の技術にもよりま なります。家庭の出来不出 くなります。家庭の出来不出 いたが、またの出来不出 をお描りになる方が大愛多 なごには十分に氣をつけるったがによせん。 富すこなるこごうしても念い りにお化粧をなさるやうで なければなりません。それは にご黒く寫り、 紫 系統の色 にご黒く寫り、 紫 系統の色 は 一に近い色 をなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合についるなく、髪飾りの色合いは中すまで 等であります。また色彩こなければなりません。それは 高山につけすぎねここ でなるここ ではないであまり 七、髪飾りには赤に近い色を 五、日紅や顔紅は少し薄い目くつけぬここ 四、眉毛はあまり際立つて濃いいやうにしておくここ きのないやうによく気を付 をつけ残しておくやうなこ なるべく避けるここ

柔かに快活にして容異にお食べたして「心持を出來るだけ りになる」こいふここが寡人 來るだけ

はくするために生地を整へね には特に自動のフリノビを はななさいます。 なさなされるに生地を整へね

また夜の情化粧には心持白いまた夜の情化粧には心持白いまた夜の情化粧には心持白いまた。 東明の色に またない ません。たこへば音なりません。たこへば音なりません。たこへば音の影響が深る。 では、 では、 できない。 ございます。

西壁かな光線が一番よろしい。 日本婦人のお顔には正面から それから今一つ時化粧の際に大切なのは結婚式の場合なに、関門に向つての座り方でごに照明に向つての座り方ででは、野性では、一部分に渡いての座り方では、大切なのは結婚式の場合など、大切なのは結婚式の場合など、 というとは、これであります。また流白いたのであります。また流白いたがの光線の下では頬紅を少ったおりない。 陰影をつくるやうなここはお なごは背灰色に見わるご云は れて居ります。 言はれて居ります。

でるますから、従つて晴化粧 に白粉がお顔にしつこりこ

0 は特に美しく出來上ります斯うなされば貴女の晴化粧 お

心く華やかな

お寝みになりますこ、夜の中を手拭で軽く押へてそのまま た。その版火は各種の色の中に、その版火は各種の色の中

## アレ止に一番よい あるこ中さればなりません。 あるこ中さればなりません。 合いは科学の管理化を確保し優良い による能率省 東洋第一の

保護に ・ では、 ・

にあるが主なるものである。 にあるが主なるものである。 はなる皮膚に對する虚 に然て最も容易に手に入り得 に然て最も容易に手に入り得 に然て最も容易に手に入り得

## 常に良 クラブ化粧品本店は 品を廉價に生產提供

質の改善と分量の増加に努め且つ販賣上最も公正なる正價 我國現下の産業革新時代に善處し以て國家の 理の定則により生産、販賣、消費三部一體の 進を實施し合理的なる大量生産を行ひ更に品 クラブ化粧品は十數年以來率先產業の合理化 品の廉價提供を實行しつつあります。今後も 社を増進する事に努むる覺悟であります。



0

重

被害相當ある模様

岡田、明治田部、赤木―― 慶應水原、宮武―

軍事は奇蹟的に無事であった 乗者は第一中隊都留少尉、同小林 原安※那下地騒村に窓落した陸平 の一本隊都留少尉、同小林 に無事であった。

に助かる

日本人の家屋

陸軍機墜落

十四日ブラジルのコバカバナ港をアジャネイに駐在ドイツ公使は二

損害賠償要求 獨汽船砲撃で

事業會社

一名生命危篤

と はなしさするドイツ方

光に発展者を

八日龍紫照氏を際将することゝな

霧社に卅戶 臺灣著名の蕃人部落

明治神宮鎮座

十周年記念祭

來る十一月一日執行

聖上には勅使御差遣

**人連附近** 

らせらるべき 自一十八日解出されなってゐるが、なほ怒駆終了後天

平壤飛行第六聯隊の偵察機八臺

來る十一月四日から

柴田 曹長 田中 中尉 不田特務曹長 古谷 大尉

探徐日支兩役員の無総會を催した

岩石が墜ち即死

大要安くなりました

(隣籍フェナ) 三町速渡

衛三七八六部電

洗染業組合認可

な飛行演

石炭界の景氣 徐々に恢復

不況は現在をドン底にして 手持炭仕入れに活氣 観説をさなへてゐる向がある 屎尿の入札 

會社單一

中央市場改善問題に關して

市長へ意見書提出

の旅郷機八機は四日午前七時三十

かに平壌を養し属午前十時三十分 下、六日は隣邊野像、七日は午前 である演者に緩加の人類は である演者に緩加の人類は

するのではある。 大連流線をはいてな関係者を 大連流線をはいて、同地屋性の かった日女同業者の組合がいよい かった日女同業者の組合がいよい がはより市内で和飯一 中上部より約五覧娘の岩森が殿 中上部より約五覧娘の岩森が殿 中上部より約五覧娘の岩森が殿 でもが揺撃性

岩石が墜ち即死 日午前九時ごろ沙沙口管内西山會 王家屯國東郷土木縣上水腔水地 郷江東場において、同地居住の來 郷江東場において、同地居住の來 郷江東場において、同地居住の來

十名で左記人は

液體燃料委員会

きのふ滿鐵で開催

ででは、 
したため、 
はり去る二十四日、 
を脱れ、 
を脱れ、 
がりまる二十四日、 
を脱れ、 
がりまる二十四日、 
を脱れ、 
がりまる二十四日、 
を脱れ、 
がりまる二十四日、 
を脱れ、 
がりまるこ十四日、 
を脱れ、 
がりまるこれ。 
では、 
を取れ、 
では、 
を取れ、 
では、 
を取れ、 
では、 
には、 
では、 
では、

かり見れば本年に比べて比較にな かり見れば本年に比べて比較にな が見れば本年に比べて比較にな が見れば本年に比べて比較にな 末の貯炭量は二百二十四萬二千 を記し越し 石炭の 需要斯に入って を記し越し 石炭の 需要斯に入って 八千三百八十七朝の郷地を示して八十二百八十七朝の郷地を示して の原放物十七萬衛はいよく、三十の原放物十七萬衛はいよく、三十一月一日より昭和大五衛が出まび十一月一日より昭和大五衛が出来が、大五衛が出来が、大五衛が大五衛はいよく、三十 受希望者は同能性點につき終練點、入札により電場の割であるが、質 州一日に行ふ 絕對賛成出來ぬ

松七路等にて慶應所継ず、課版四二三帰職は午後二時應應の光度で選 慶應再勝 早大さ同勝率

地程院製組合が観定した操態

焼し昨年九月は昨年7

慶明二回戰

光不波も現在を最低さして後と

スチー

同乘

が無線通信の影響を行ふ事にな が無線通信の影響を行ふ事にて大選 に顕緑同日中に兼行場の悪備およ で無線通信の影響を行ふ事にて大選

語部以について全盤のかし、で け日に委員會を開き小委員會の協

彩電並會の上解部に附も死因の を後三時より整要を を後三時より整要を がに十七日午前九時窓に終命し では同日

油まみれになってスチーム修織語さんの姿が街のそここで見受けられる 街頭に冬の仕度 ム修繕屋さ 然くりき機へこんだ各家庭では今 や十一月の壁を降かう ふてゐる間に、

聞きわける牛君

によって事の職材

東京 は全然会議を組織した総果 での活我の間に在るものな素々 さの活我の間に在るものな素々 さの活我の間に在るものな素々 を放って単校内に監禁し、順 を放って単校内に監禁し、順 を放って単校内に監禁し、順

る牛は重にむち上 で、置へるのだ ないまん

震知事はかれて阿片を密護する

を慎信して、方知事はひごくこれを経した、方知事はひごくこれ

休さいふ為縣知事は事務の引船

一千元の小

流石支那らしいお話

八間の言葉を

◇~そこ

老人はこのれた

◆上海の 西門州原家織の 金美景さいな食用生職扱底では この職年後一時ごろ三人の監獄 に爺ごて中十三頭を蛭口の屋鏡 に恋しかゝつた際、そのうちの に差しかゝつた際、そのうちの に差しかゝつた際、そのうちの に差しかゝつた際、そのうちの に差しかゝつた際、そのうちの 選入つて脆いたまい鳴き でくこの生に同様し様が覧さった。 広覧はこの記を払入に告げた、 広覧はこの記を払入に告げた、 広覧はこの記を払入に告げれるこの数人の報意を多さしこれを七八元にまけて関している。

號六十九百七

Ŧ A

展戦から調さへ施してぬて世た りはするし附近は印動車な 典数 の原能もごう 人の老人が

◆ 早相田 略ざ、好子大脈 さまでいばれてぬるが、振況支 さまでいばれてぬるが、振況支 日本の學校騒動の上をゆる 支那大名の珍事件 は感活魔を検及排尾の運動を提出を持ちるできる情報がある、沖北省

教職員らを監 生徒が學校占領

◇一支那新聞はの記事 20 ち事質問述ひはないさ附記して み老人の鬼くまいに 死傷騒ぎ 数日の 

知事更迭で

養験談をキングーで 上の大照戦して来た農村 大郎ではなり、1000円である。 大阪戦に、1000円である。 大阪戦に、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、

るが所原部院及の姓名は個不明で終棄者二名中一名は生命形態であ 搭乘者奇蹟的 說教强盜 **右決議四路を其中** 

歌理中のマ

八の三日間行はれるこさに決中のさころいよりく十一月四

のは極めて凝いのでは一番望した通りの配管を

十一月四

東京地方裁判所職域裁判長の手でにかいる強盗強強に動物を強大機会強強を動物を強大機会 妻木の公判 來月初旬開廷 スミルナの大洪水

スマルナ地方に大淡水カリ電通 スマルナ地方に大淡水カリ酸に七十名に遂らは民は宿無しさなり家康の飛騰されたもの六百六なり家康の飛騰されたもの六百六なり家康の飛騰されたもの六百六 十五戸に達してゐる 男女別々の

薬湯にする

の家族風呂

は市中の支那風呂の倒もわり男女局は許可されなかつたため表だそ 

家があるが同 所を目下東京選で大陸上には五十種以上の 向に傾ひ出てゐる

配當金調達交涉 へ始まる ではなった七ケの家族脈出し常 においてはなかく 完備したもの においてはなかく 完備したもの でが評か恢してゐるが、常時 なのでが評か恢してゐるが、常時

昨今ボツノ

の上空で

の 『上海特體二十八月襲』 減延測北 ・ 世五日ごろ 採蔵車に は餓せられ 長 ・ 沙の十六節旅の一部隊ばこれが 計 ・ 俊に 出航 ごた 洞庭湖北岸 共產軍占領 石で歐つて 討伐隊出動

展信の戦人宏操治の實施機徹里で一般川前些線化ごさより市内科技館でした。 傷害致死 鮮人無賴漢が さ言ふ 植附きの無縁流である 送の途中掃郷を堺賦して逃走した 商工省異動

命製織所建移部長 命製織所建移部長 商工書記官 寺尾 進 倉販資部長 如く發表さる 「東京二十八日發電池」 本日左の

依函発本官(各通) 縣山監督局長 柴山

金 刀比羅神社 大連番目 では一時十一時から明治衛祭典を記さしば、 は午前十一時から県東を執行十一月 は午前十一時から明治衛祭典を記る日には は午前十一時から明治衛祭典を記 個に執り行ふこ

有化展覧會 諸級沙河口 新花展覧會な開催毎日午前八時か 一次三層日例年の通り同俱樂部で 一次三層日例年の通り同俱樂部で

WILLIAM.

浪速町の 廿八日

手

卸現 資金 本洋行

得満足を願って居ります かやいやかなる意匠館業は生一代の御監儀の御下

大山通り

林洋行菓舗

ag語でかいた書 を住宅電車等信候前)

水原小兒科醫

屋

全商品も大半賣盡 ました

◆●◆舶 來 毛 布◆舶 伊勢町浪速町角 掛◆◆◆ 羽根式真綿布園 ◆◆◆

ませ

佐渡町一八西廣場幼稚園横入送別會、披露宴、相談會

御宴會場生門雲水 法衣の 話

即座に四個の運玉 抽籤して御勘定より お差引致します 加

ざいますから新型も珍型も此際に思ひ存分御選び山の如き豐富な商品を一掃したい爲めの催してご 自珊瑚帯止・三一 おつとめ品

下さい 浪達町二 

總本店

☆安徽省 が原本が実際に批低するさ計用 を連繋の如事が更速しが発力な を連繋の如事が更速しが発力な で連繋の如事が更速しが発力な

設備整へ

婚禮

御

被

滿。日。講。堂 公衆的利用に提供

ないかさ観られてゐる

講演、講習、音樂、温習、各種會合、諸催 的利用に供します 新裝成り諸設備整へる滿日講堂を一般公衆

し物等に盛んに御利用下さ 御用の方は電話六三四八番へ

部

る、林は駅年前郷天において或る なな行ふさ共に難に際客様元島を が変が死犯さして月上駅職中であ

るこさいなつた

廿九日

瀬丁智記官 竹内 可吉 信臨時産業合作局事務官(二等) 命同第一部長 命同第一部長 第一部長業務

廿九日

安値を發表致します。とはした。お値段は絶對自信のある特別のとました。お値段は絶對自信のある特別の

特撰の秀逸品を御召し下さ

B 期間中モス友仙·色モス·初折裏全種大空雷見提供

もがれて生血を絞り取られるや迎えに来た紫鏡者たちは、縁続

こちらは他のかりり合ひも持てな

「会社のだちゃ、もう、昨日の日

ないさいふんだれる

「ちゃ、こつちの知つたこさちゃ

人の愛観者が、源ながらに見守った職を支配密観の変濃にかいつた職を支配の変濃にかいった職を支配を表が、絶印なマフド なった。 会社さは何季園像がないも 会社のだちや、候も知らないさい する問題で、又演野さん個人の問 する問題で、又演野さん個人の問

きだ師も候も移へれいうちに 、そのうちの一人が貼れた。 と、そのうちの一人が貼れた。 からよくお説を云ってくれし、 - 際系が處分するのは……わけの際 ますの死隊を中心に見たちは 助りの死隊を中心に見たちは は その時。また一人の男が選

一間は、人口のがへ吸を見やつ さいその時、京子が贈りされな B 院醫 場馬 八七五八話電·結構盤常運大

色白くなる最更の純無鉛白粉のは、 しきく と

V

全國各薬店にあ

h Δ

当內省御用達

味の寒木師

鈴木養店

化粧上りも 白さ

白きに

無理がなく

定

大四十八四十八四十八日日 十十二日日分分分分

**期、液剤あり** 新 哲 個 入 大 一 調 代 の 手 の 手 の 手

を防ぐに最も好適 を防ぐに最も好ん を防ぐに最も好ん を関用し得る理想 を防ぐに最も好ん です。



よみ試ず必は人る

松浦汽船城會社

完全に除きます。

大連市美濃町二五體六六八八八里の東京では開来堂下さい、リタマッサージあんぶく、ハリタマッサージあんぶく

辨天堂主風呂崎

伊太利郅直輸入

岡 糸

少量にても奏が書しく、香味爽かにて 糖肉散は貴脂の薬剤より成るが故に、 長



した。 入りま

① 海陸連送

ぜんそくの流行季に 秋冷と共にたんせき

(1)

九七

一种木真

0

00

艺大阪商船山帆

出机

「あゝ。もう。おつつけ來るだら てあた。 「あゝ。もう。おつつけ來るだら てあた。 「鬼に解、實証際へ談死して、極 死に直聴して、まるで養狂した人 か 「鬼に解、實証際へ談死して、極 死に直聴して、まるで養狂した人 が のやうである。

順ます荷造も御引受致 物自動車を是非御利用 である貨 である貨 を地行一般荷物、引越 のである貨 專科内 相丁四旬建溴市渔大 醫會母



「おい大野、ことにどやされてる 「似?どやされて・・・・ 大腿だ……

て、この確ましい機事を登見した

五

「然し、よくもまめ真野さんは、

刊紀竹

「きうだなめ、何でもこれは食社」

▲ 五葉青年(十一月號) (二十錢、 新朝日(十一月號) 消費經濟收 新朝日(十一月號) 消費經濟收 「一月號) 消費經濟收 「一月號) 消費經濟收

大阪商船就大連支店

「全くだ」 紫鶴者たちは病院の一部で、こ 紫鶴者たちは病院の一部で、こ 切って脳込んで来た。

即日まで無がつかれいであたに強 かよかつたからなあ」 

連市山縣道

●上 作前九時出訓 (禁山央 二月四日 代 哪 店

一日清汽船球出帆

州代

流流

報

H

(日曜水)

(政野は不静の姿さなつてしまんで手数を加へて見たが、こう

その男のがを注載した。

管支カタル、百日本剤は、威胃、氣

御存知 パズチルを!

ファトシン ですか?

大阪商船的武大連支店 東國有技所(大連市山縣通) 國際運輸會武大連支店 電話三十五十点 一阿波共同汽船 阿波國縣爾地大連支店阿波國縣爾地大連方山縣進二〇〇香地 にんしん按腹

東島切神観賞編修議店へ大連須藤町 東島切神観賞所(大連伊藤町) 東島切神観賞所(大連伊藤町) 東島切神観賞所(大連伊藤町) ヤバンデーリスト・ピューロー 北西 (大連伊藤町)

元 賣 發 號與永 六二阶级比惠市建大 では、 一大の五 八五四人 三二九一二 新聞

川日本睡船业帆 開東 吉香蘿蔔 三近海郵船財出机 日本電船株大連出張所大連市山縣道電路 (三七三九番 灰深と灰口

(ニセモノあり特に藤井の名様に御注意館ます) 其他如何ほど頭固なる呼吸器疾患のたん せきる凡ぞ一二週間用ふるれば其効果顕著なり 肺病にて常に力なきせき出づる人 百日せき又ははしかせきの小見 音聲のかれ又は咽喉の痛む人 ぜんそくとてせてせて息切れする人 たん臭氣を帶び時々血の交る人 流行感胃ら起るたんせきの人 七十類りに出で夜オテオテ眠りまる人 たんにて常にコホンコホンと悩む 精酸ハツキリとなり、咽喉の苦しみを 病人子供にても最も好適、服むたびに 殿み好ければ、如何に葉様ひの人 らまい 込んで、 ちよい **通理で料理場** 味の素の チラ と飛び IJ 安い 食ふ 1





陽 **秘便習常・腐蝕・真不化消・ルタカ霧** 腎性慢・疹麻毒他のそ 痢下兒小・便縁兒乳 933(N)